



「国土交通行政インターネットモニター」アンケート調査（平成19年7月実施）  
「航空行政について」の結果について

国土交通行政インターネットモニターとは、広く全国の皆様から、国土交通行政の課題に関しインターネットを利用して質の高いご意見・ご要望等をお聴きし、今後の国土交通行政の施策展開の参考とすることを目的として、平成16年度から実施している制度です。

詳しくは、<https://www.monitor.mlit.go.jp/>まで。

### <はじめに>

近年、航空は国民の身近な足として定着・発展し、経済社会の活性化や国際競争力向上のための戦略的基盤として重要な役割を果たすものとなっており、このため、航空関係の話題がマスコミ等で取り上げられる機会も多くなっています。

このような状況の中、国土交通省としては、国民の皆様が航空行政に関し、どのような広報や情報を求めておられるかを把握し、的確な情報提供を行っていくことが重要であると考えています。

そこで今回、国土交通省では、今後の施策展開に反映させるため、広くモニターの皆様から意見やアイデアを募集することと致しました。

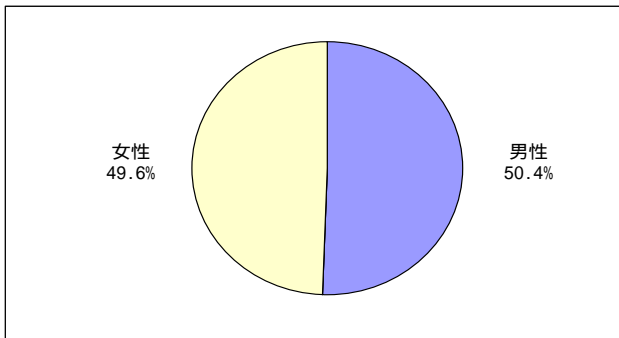
その結果の概要は以下の通りです。

### <アンケートの概要>

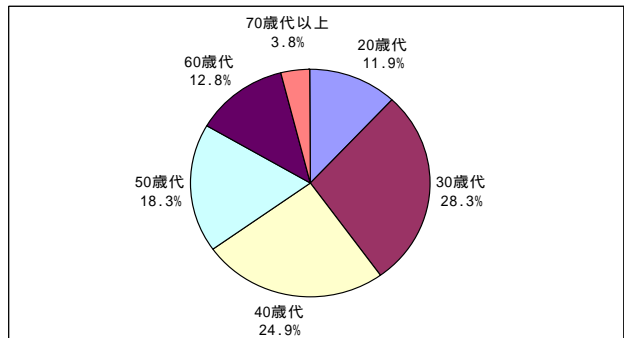
- 対象者： 国土交通行政インターネットモニター1,195名
- 回答率： 89.5%（1,069名）  
回答者の属性については、P.2をご覧ください。
- 実施期間： 平成19年7月10日（火）～平成19年7月25日（水）

< モニター回答者の属性 >

< 男女別 >



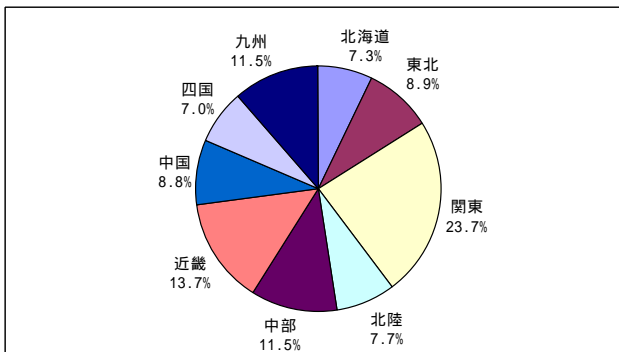
< 年代別 >



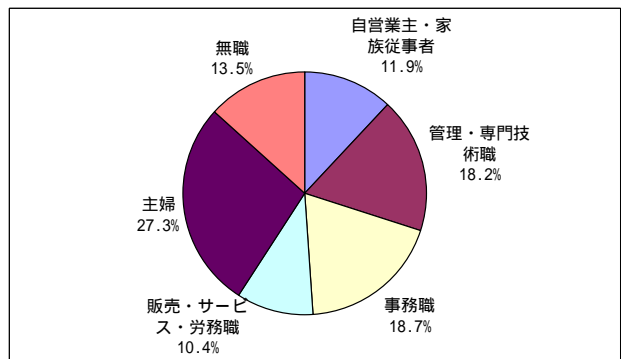
男性	女性	計
539名	530名	1,069名

20歳代	30歳代	40歳代	
127名	302名	266名	
50歳代	60歳代	70歳代	計
196名	137名	41名	1,069名

< 地域ブロック別 >



< 職業区分別 >



北海道	東北	関東	北陸
78名	95名	253名	82名
中部	近畿	中国	四国
123名	146名	94名	75名
九州	計		
123名	1,069名		

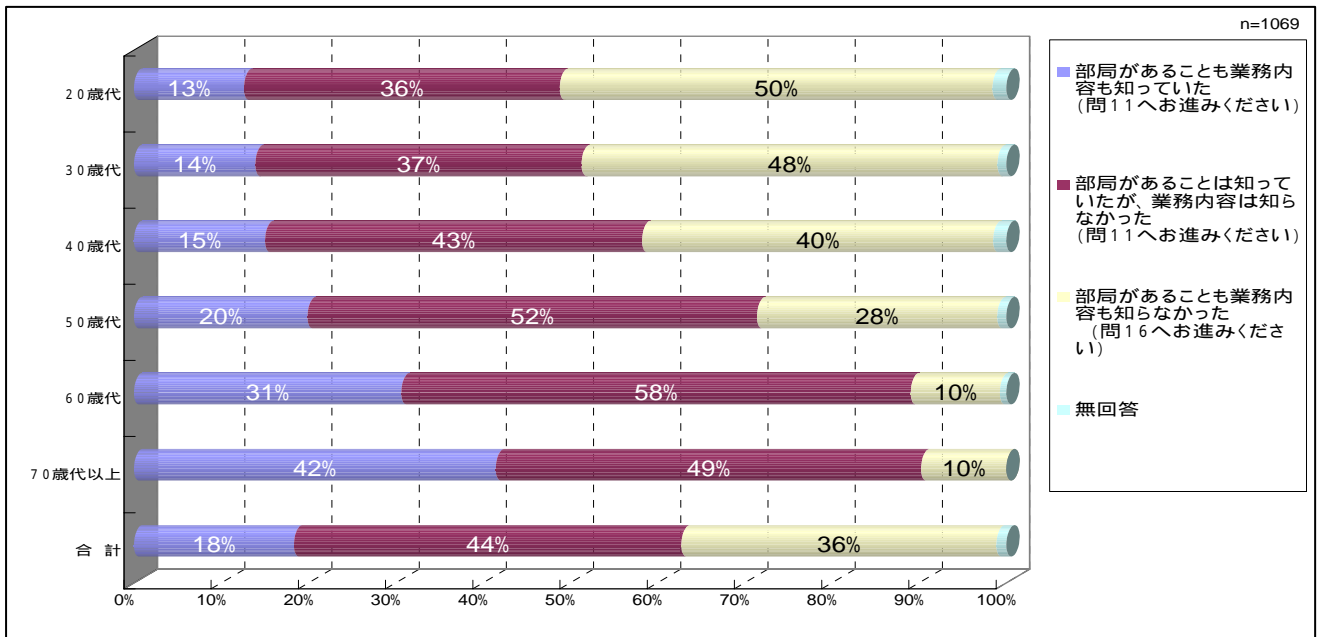
自営業主・家族従事者	管理・専門技術職	事務職
127名	195名	200名
販売・サービス・労務職	主婦	無職
111名	292名	144名
計		
1,069名		

## < アンケート結果の概要 >

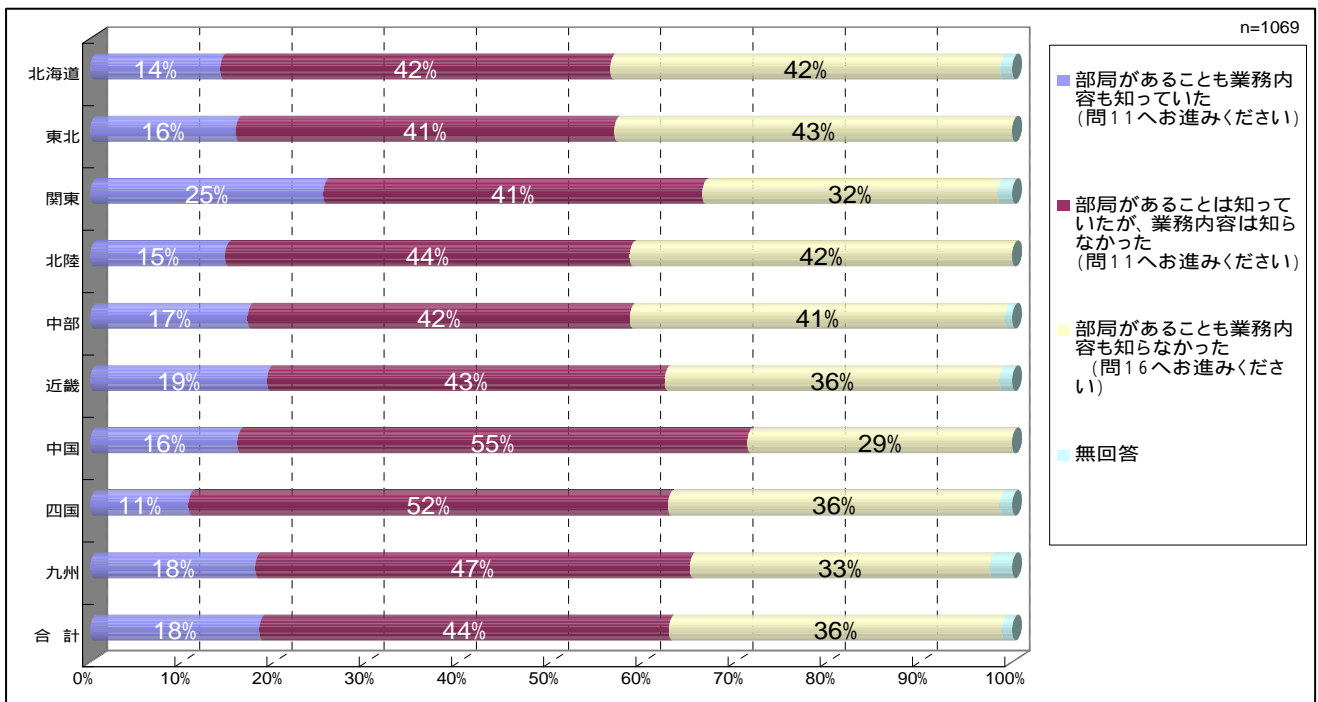
個々のアンケート調査の結果については、別添「参考図表」( P D F 形式 ) をご覧下さい。  
また、各グラフの見方については、P . 28 をご覧下さい。

## 国土交通省「航空局」の認知度について（問10）

### <年代別>



### <地域ブロック別>



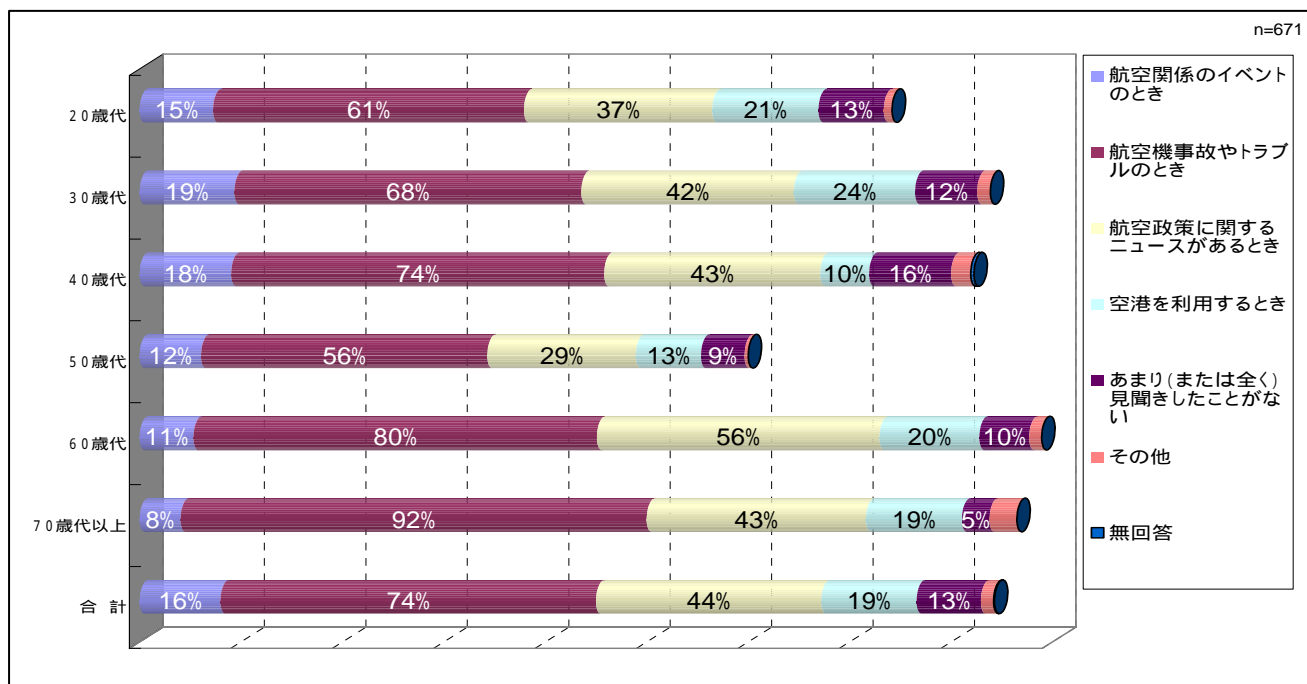
全体で見ると、航空局について「部局があることも業務内容も知っていた」と回答された方が約18%、一方「部局があることは知っていたが業務内容は知らなかった」と回答された方と「部局があることも業務内容も知らなかった」と回答された方を合わせると約80%となり、航空局の業務内容に関する認知度が低いことがわかりました。

年代別で見ると、航空局を知っている方は20歳代が最も低く約13%となっていますが、年代が上がるにつれて多くなり、70歳代以上の方が約42%と高く、高齢者ほど航空局を知っていることがわかりました。

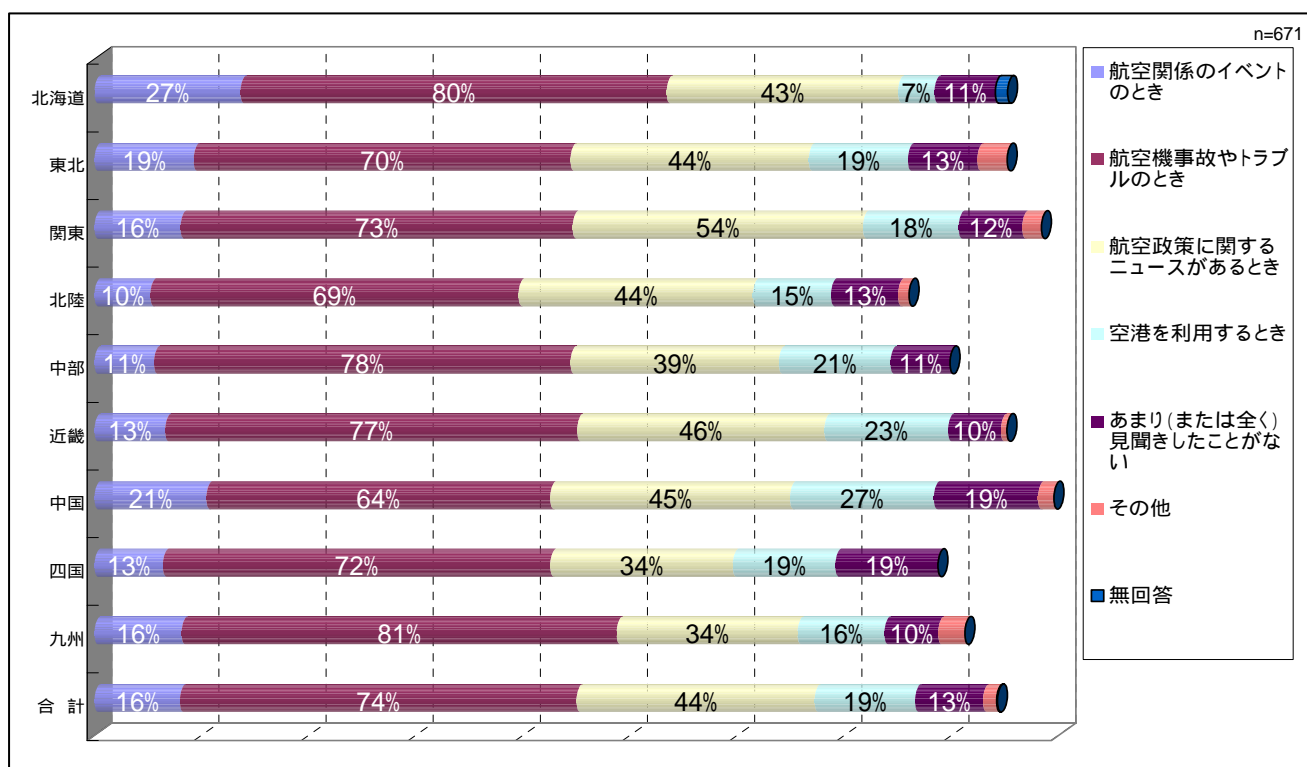
地域ブロック別で見ると、地域間のばらつきはあまりないことがわかりました。

## 「航空局」を見聞きする時について（問11、複数回答）

### <年代別>



### <地域ブロック別>

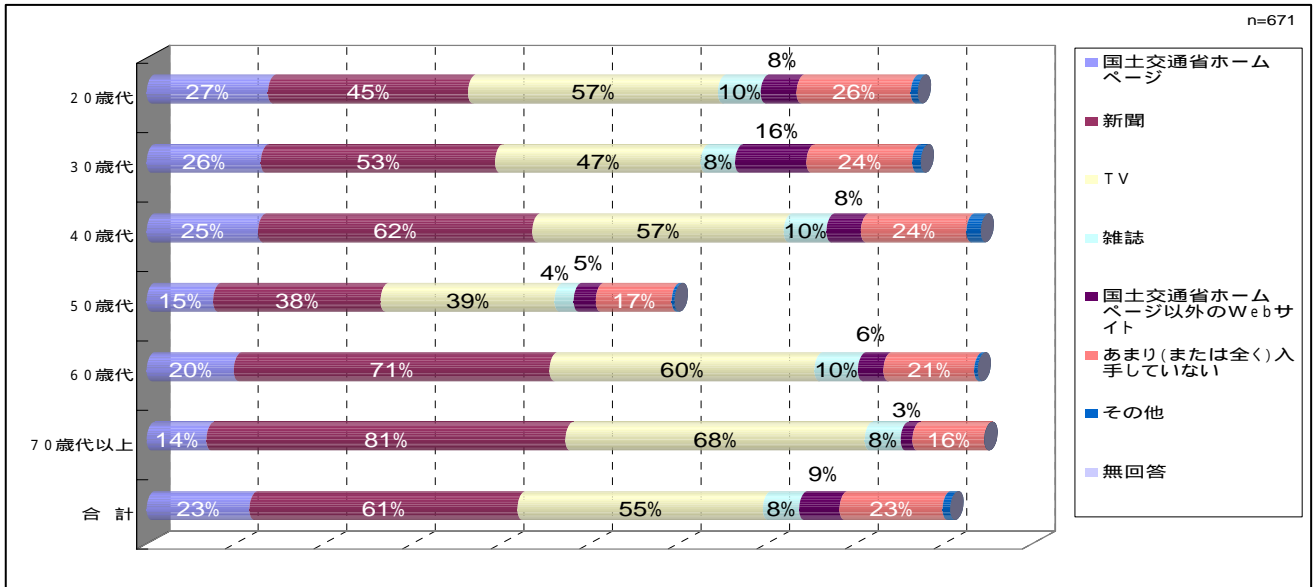


全体で見ると、複数回答で、航空局を見聞きされるのは「航空機事故やトラブルのとき」と回答された方が約74%、次いで「航空政策に関するニュースがあるとき」が約44%となっており、最近の報道に影響されていることが伺えました。

年代別や地域別で見ると、どの年代や地域においても、「航空機事故やトラブルのとき」「航空政策に関するニュースがあるとき」に航空局を見聞きすることが多いことがわかりました。

## 航空行政に関する情報をどのように入手しているかについて（問12、複数回答）

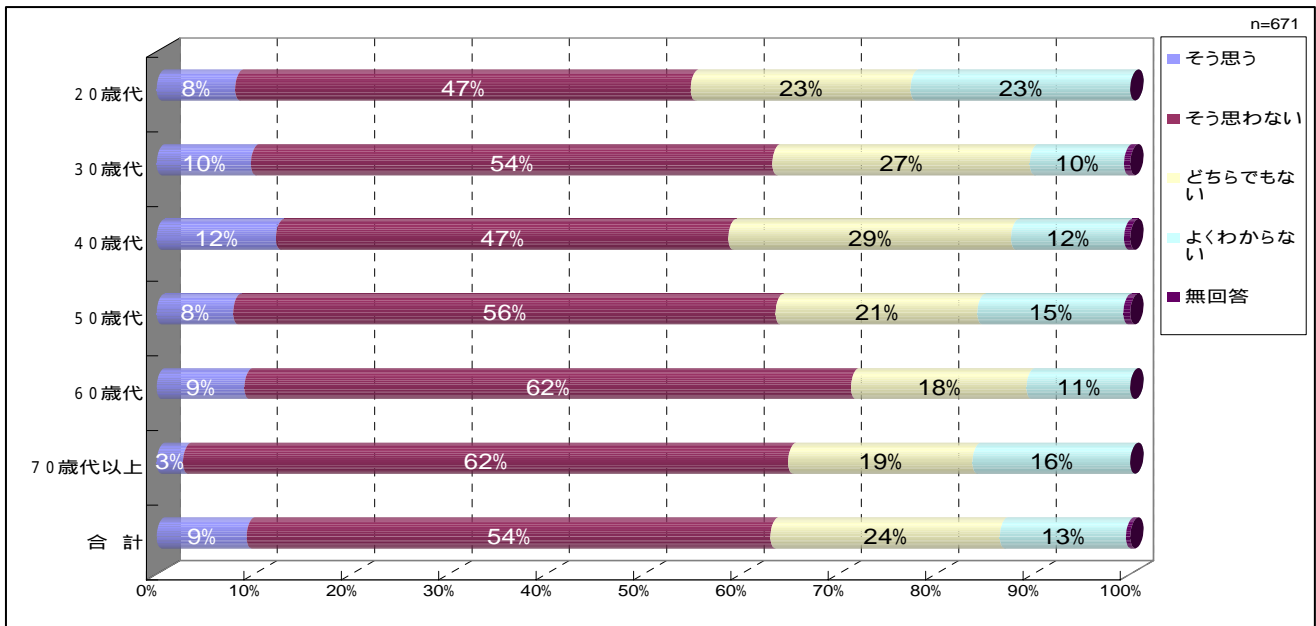
<年代別>



全体で見ると、複数回答で、航空行政に関する情報をどのように入手しているかについては、「新聞」からと回答された方が約61%、「TV」からと回答された方が約55%と高いこと、一方「国土交通省ホームページ」からと回答された方は約23%であり、国交省ホームページよりもマスメディアからの情報入手が多いことがわかりました。

## 航空局の新しい情報が入手しやすいかどうかについて（問13）

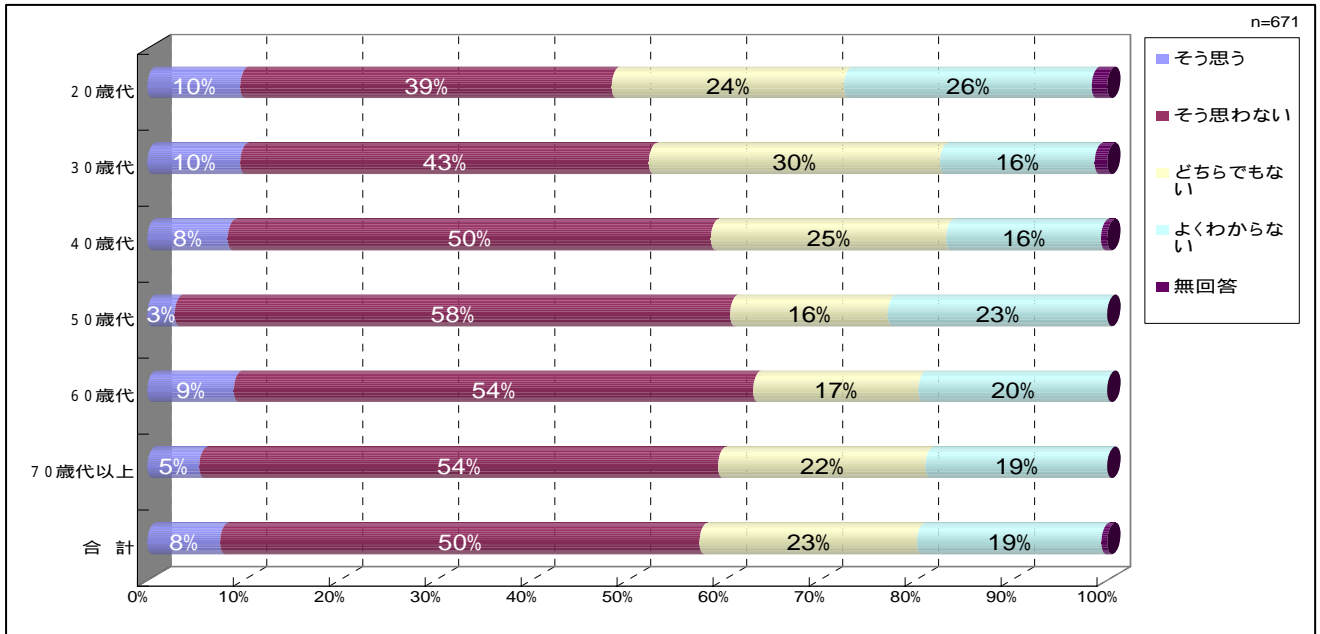
<年代別>



全体で見ると、航空局の新しい情報が入手しやすいかについては、「そう思う」と回答された方が約9%、「そう思わない」と回答された方が約54%でした。

## 航空局からの情報提供の量や種類が豊富かどうかについて（問14）

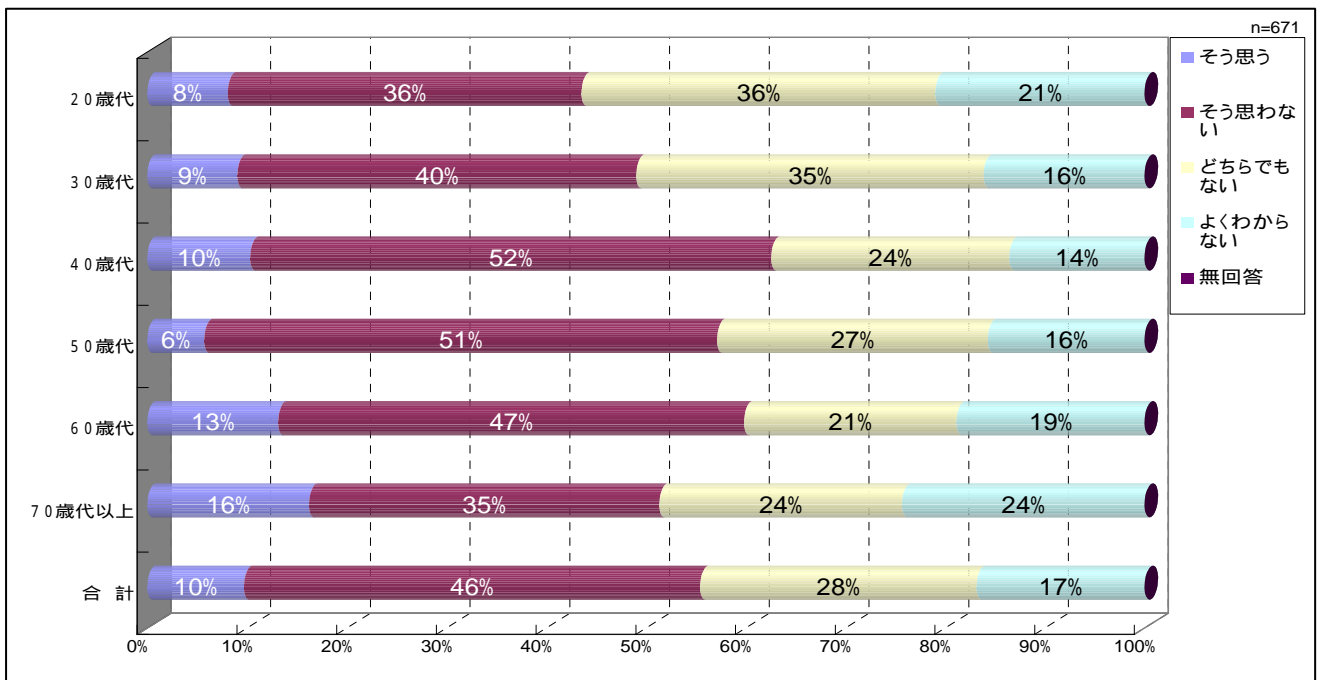
<年代別>



全体で見ると、航空局からの情報提供の量や種類が豊富かどうかについては、「そう思う」と回答された方が約8%、「そう思わない」と回答された方が約50%でした。

## 航空局の情報がわかりやすいかどうかについて（問15）

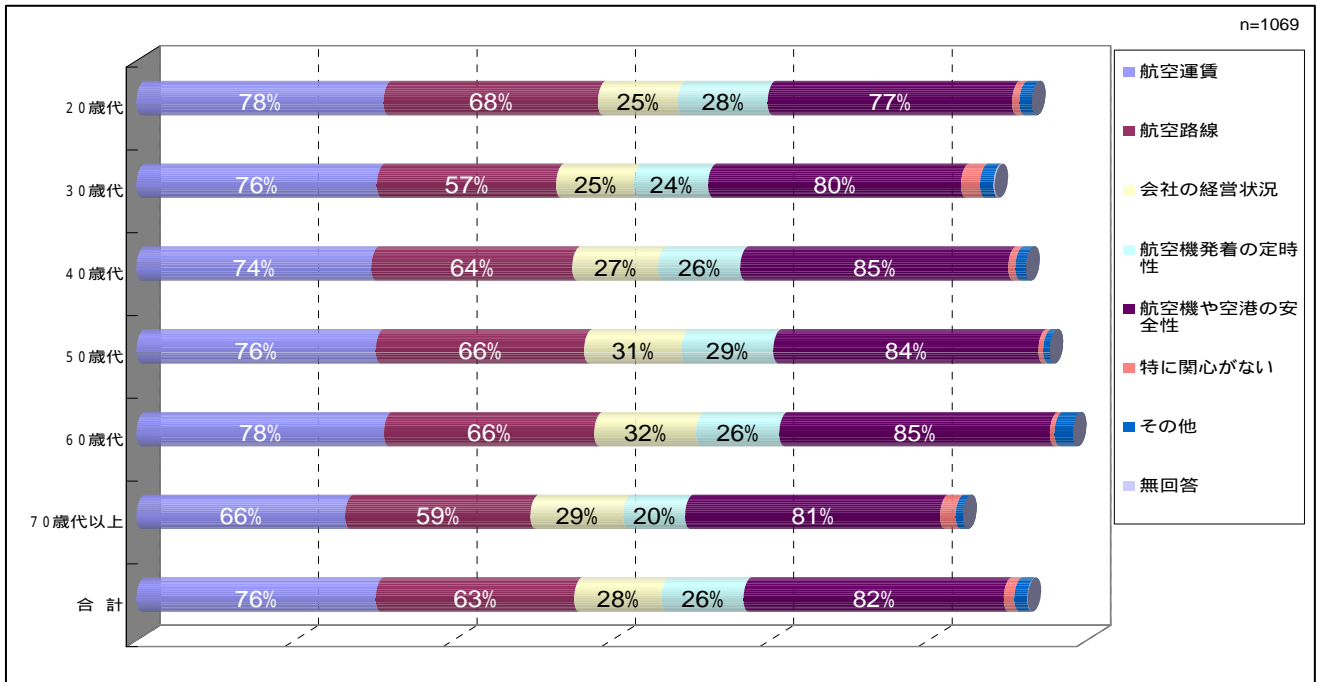
<年代別>



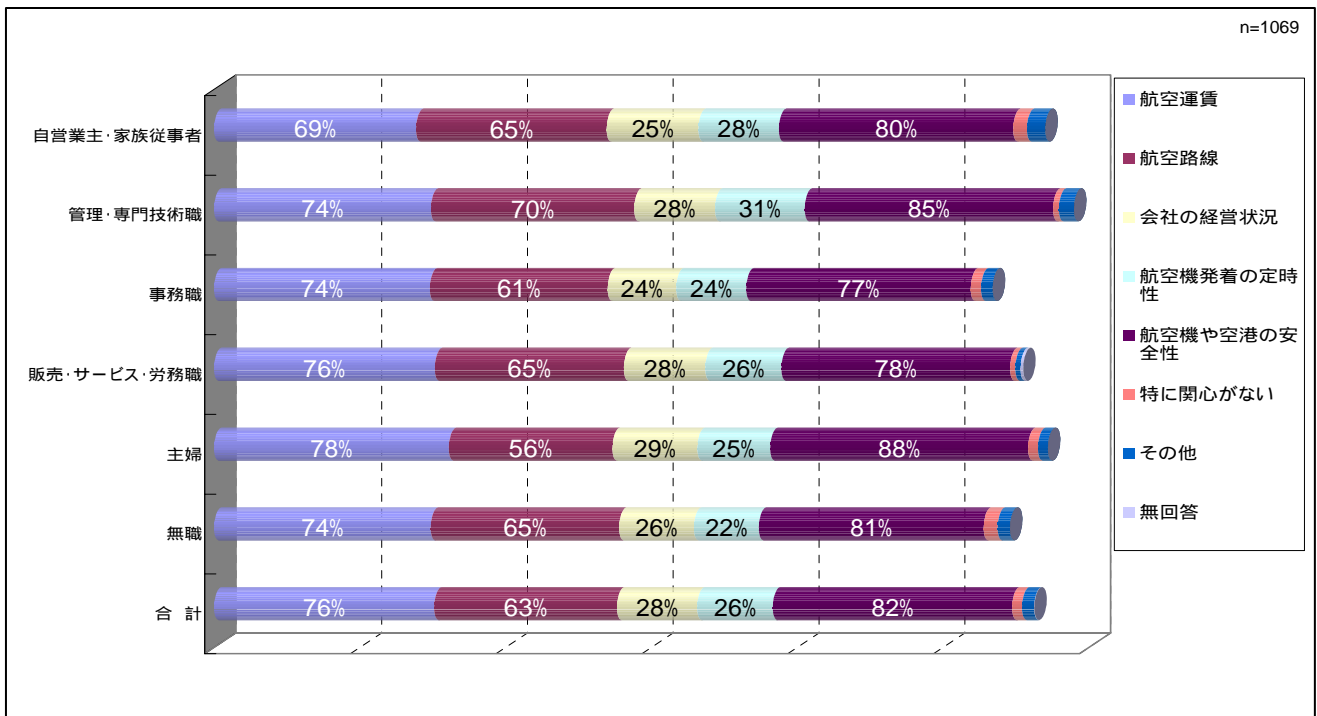
全体で見ると、航空局の情報がわかりやすいかどうかについては、「そう思う」と回答された方が約10%、「そう思わない」と回答された方が約46%でした。

# 航空会社の事業などで関心のあることについて（問16、複数回答）

## <年代別>



## <職種別>



全体で見ると、複数回答で、航空会社の事業などで関心のあることについては、「航空機や空港の安全性」と回答された方が約82%、「航空運賃」が約76%、「航空路線」が約63%でした。年代別や職種別にかかわらず、ほぼ同じ傾向であることがわかりました。



## 航空会社の事業などに関する具体的な関心内容（問17、自由意見）

各航空会社の事業などに関する具体的な関心内容について、全回答者のうち、640名の方からご意見を頂きました。その意見の一部を以下に紹介致します。

### 【航空機や空港の安全性について】

規制緩和で低料金の航空会社が出てきているのは、利用者としてはありがたいが、航空機の安全性が特に心配だ。（北海道、60代、無職、男性）

航空機の安全運行の具体的な方策・整備基準や整備資格・最近は整備が海外で外注化されていると聞くと、その指導方法やチェック方法は大丈夫なのでしょうか。又、日本の整備技術が衰退する危険はありませんか。（石川県、無職、60代、男性）

航空機は一つの事故が重大事故につながる事が多く、安全性に対する取り組みや会社の姿勢について特に関心がある。それと、情報公開の努力ももっともっと積極的に行ってほしい。（福岡県、自営業主・家族従事者、40代、男性）

どの航空会社も、経費削減・人員削減がされていますので、整備不備・研修不十分による事故が心配です。国内の航空会社に限らず、日本に乗り入れている外国（特にアジア）の航空会社の安全性に疑問を持っています。（佐賀県、主婦、40代、女性）

### 【航空運賃について】

燃料サーチャージにより旅行代金の他、支払う諸経費が多くなってきたような気がする。また、それに伴い、採算が合わない路線縮小されたりして、消費者にとって飛行機に乗る楽しみが少しずつ減ってきたと感じている。（福島県、事務職、20代、女性）

### 【航空路線について】

地方空港発着の定期路線の存続について。搭乗率の低下から廃止になる路線が相次いでいますが、航空路線がなくなると大変不便な移動を強いられる区間もあります。採算性を無視することはできませんが、地方空港発着路線がこれ以上少なくならないよう願うばかりです。（福島県、事務職、30代、女性）

大都市に向けた路線が集中しすぎていることに大いに疑問を感じる。発着枠が有限であり、かつ、その空港が使用できなくなる事態に陥ったとき、どのように対応するのか。滑走路が多すぎることは事故の潜在的危険を増すことにならないか。ターミナルビルが大きくなりすぎることは、利用者に不便を強いてはいないか。などなど。（秋田県、販売・サービス・労務職、20代、男性）

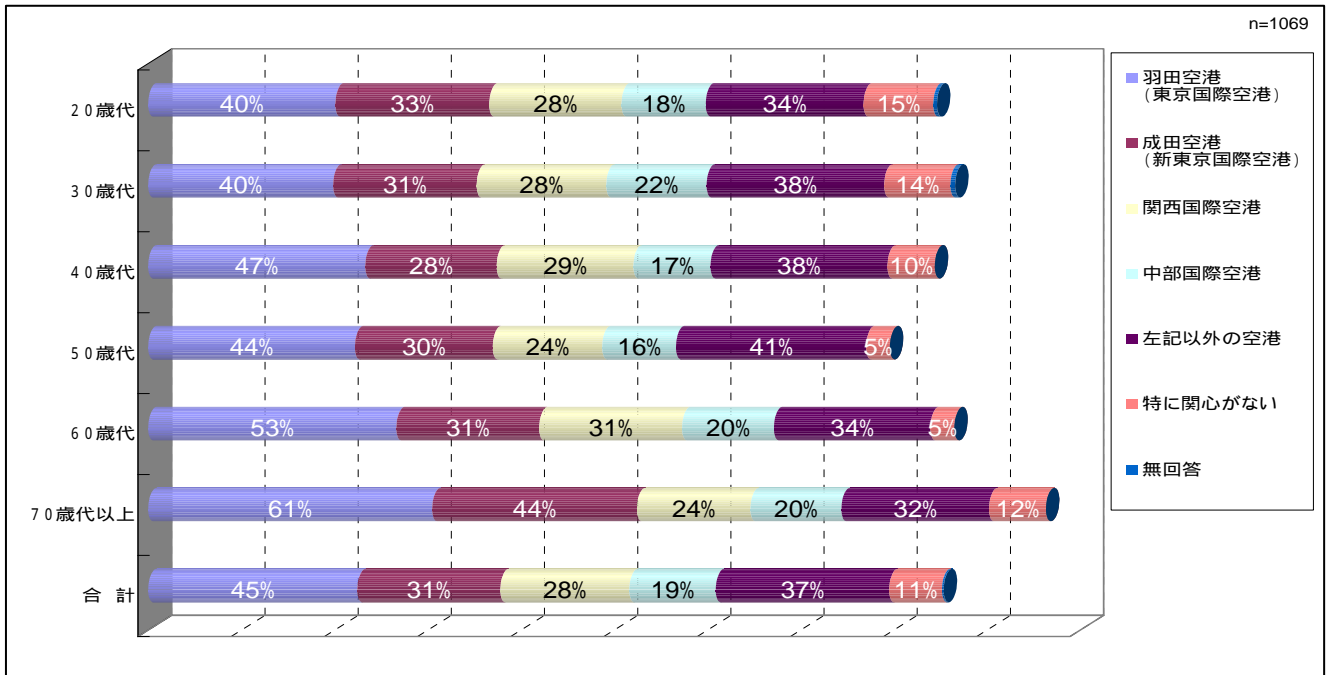
### 【その他】

空港利用税を払う場合と、払わない場合が混在しているのが理解できない。飛行機に乗る事は空港を利用するのと同じ事なので、航空運賃に含んだ金額設定にして欲しい。

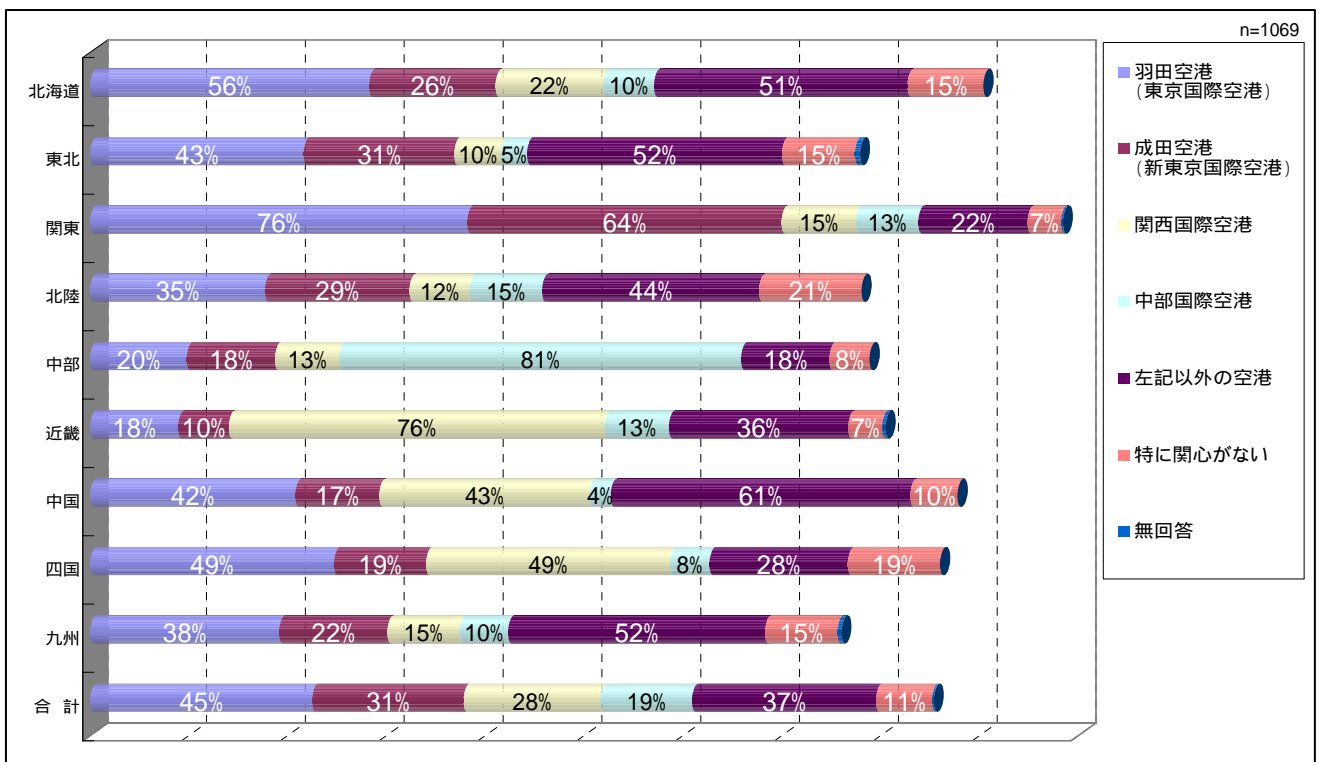
外国に行く時、成田空港から出発するよりも、羽田空港から関西国際空港乗り換えで行く方が、便利だと感じる。（東京都、主婦、40代、女性）

## 空港整備で関心のある空港について（問18、複数回答）

### <年代別>



### <地域ブロック別>



全体で見ると、複数回答で、空港整備で関心のある空港については、「羽田空港」と回答された方が約45%、「成田空港」が約31%、「関西空港」が約28%、「中部空港」が約19%、「左記以外の空港」が約37%であり、概ねそれぞれの地域にある空港への関心が高いことがわかりました。

## 空港整備に関する具体的な関心内容（問19、自由意見）

空港整備に関する具体的な関心内容について、全回答者のうち、637名の方からご意見を頂きました。その意見の一部を以下に紹介致します。

### 【羽田空港について】

地方空港の大半は羽田に路線が集中している。滑走路が増えたとし、ターミナルビルも2つになった。こんなに大きくなって、大丈夫なのかと感ずる。もし、羽田が使用できなくなった場合、利用者にとどのくらい不便さを強いることになるのだろうか。羽田で航空機事故や地震が起こり、滑走路が使えなくなったとき、一体どんな状況になるのだろうか。なぜ、羽田の代替機能を持つ空港が近くにないのか。（秋田県、販売・サービス・労務職、20代、男性）

### 【成田空港について】

成田は不便なので、国際線を羽田に...なんて馬鹿を言っている人がいるようだが、どんな経緯で成田空港がここまでになったかを忘れたのかと言いたい。地元を無視した国の強硬策で成田に造っておきながら、またもや国の勝手に移転なんてことがあってはならない。不便なままにしておくのは、国の責任ではないか。積極的に東京、成田間の交通網を整備するべきだ。（茨城県、主婦、40代、女性）

### 【関西国際空港について】

関西空港はハードソフト面ともに世界でも非常に優れた空港であるが、着陸料、空港連絡橋や駐車場が高すぎるので利用コストがかかりすぎる。民営は正しいものの、本来国として負担すべき部分は、国の負担で整備すべき。（京都府、管理・専門技術職、40代、男性）

### 【中部国際空港について】

中部国際空港の国際ハブ空港にむけた具体的な施策はどうなっているのか？（千葉県、管理・専門技術職、30代、男性）

中部国際空港が新しく滑走路を作ると言うので、関心があります。海の上にあるので風が強いと飛べなくなるという欠点がある空港だから。（三重県、無職、60代、男性）

### 【その他】

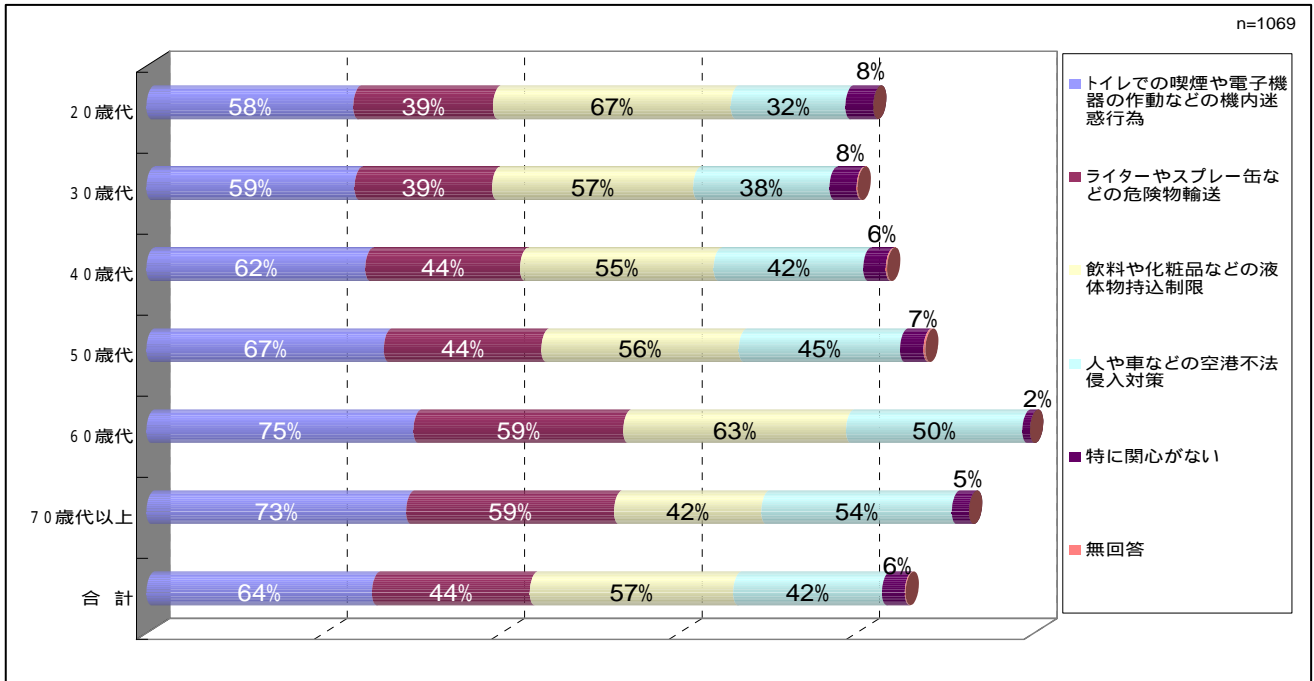
限られた空港だけでなく、地方都市にも国際便が発着できる空港を整備してほしい。（青森県、自営業主・家族従事者、40代、男性）

本州の中心部は整備発達されているので、もう少し九州や東北のほうにも大型国際空港の整備があっても良いのでは。（岡山県、自営業主・家族従事者、20代、女性）

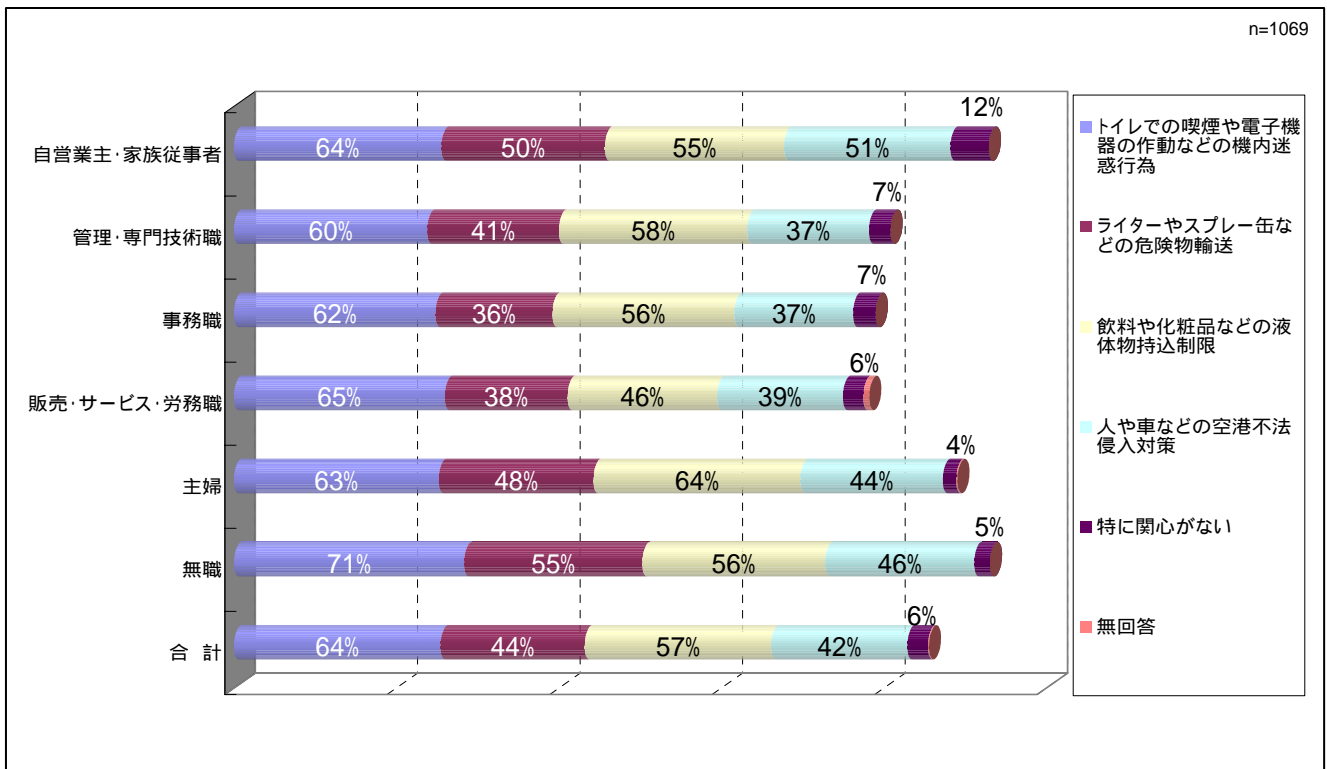
沖縄のほうに空港ができると聞いていますが、自然保護などの環境対策を万全にして欲しいと思います。（熊本県、事務職、50代、女性）

## 航空保安などで関心のあることについて（問20、複数回答）

### <年代別>



### <職種別>



全体で見ると、複数回答で、航空保安などで関心のあることについては、「機内迷惑行為」と回答された方が約64%、「液体物持込制限」が約57%、「危険物輸送」が約44%、「空港不法侵入対策」が約42%でした。

## 航空保安などに関する具体的な関心内容（問21、自由意見）

航空保安などに関する具体的な関心内容について、全回答者のうち、576名の方からご意見を頂きました。その意見の一部を以下に紹介致します。

### 【トイレでの喫煙や電子機器の作動などの機内迷惑行為について】

携帯電話の電源を切らない人が逮捕されたが、どんどん強化すべき！ 従わない人には乗る資格はないと断固たる態度で対応すべき。（北海道、無職、30代、女性）

迷惑行為は実際に何度も見たことがあるので、もっと厳重に対策してほしいし、警備等も目に見える形で抑制効果も狙って厳重にしてほしいと思う。（千葉県、主婦、60代、女性）

機内で電子機器を作動させたとき、本当に航空機の安全を脅かすほどの電磁波が放出されるのか疑問に思っています。（大阪府、自営業主・家族従事者、40代、男性）

### 【ライターやスプレー缶などの危険物輸送について】

危険物輸送は飛行機の安全やテロ対策にもつながることだと思うので、気になります。（北海道、主婦、20代、女性）

持ち込み制限を加えることで、空港での搭乗手続き等に「時間がかかる」といったトラブルが起きないように万全の対策を講じていただきたい。（奈良県、無職、40代、男性）

### 【飲料や化粧品などの液体物持ち込み制限について】

子供が水分を欲しがるので、制限があると困る。長時間の場合は特に困る。なかなか何度も飲み物はもらいにくい。（北海道、主婦、30代、女性）

病気等でどうしても持ち込まなければならない飲料等の持ち込みを容易にする仕組みを確立してほしい（青森県、事務職、30代、男性）

液体物持ち込み制限のページ [http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha06/12/121219\\_.html](http://www.mlit.go.jp/kisha/kisha06/12/121219_.html) ですが、現在国土交通省のHPのトップからは探し出せない状況かと思います。今週末より旅行者が多くなる時期ですので、TOPよりリンクを張るなど、時期に応じて対応をされるといいのではないのでしょうか。また、医薬品、ベビーミルク/ベビーフード、特別な制限食等については、適用除外とありますが、その場合は、X線検査のところで見せるのか、普通に持ち込んで良いのかなど？です。もう少し適用除外のものについても、持ち込み方法など詳細をご案内頂きたいです。（普通に鞆にいれては他の液体と区別ができませんから駄目なんですよね？）（神奈川県、自営業主・家族従事者、30代、女性）

### 【人や車などの空港不法侵入対策について】

神戸空港での車両進入事件や羽田空港の関係者の他エリアへの侵入事件等を見ると、空港の治安・安全性の更なる向上を望みます。（群馬県、事務職、30代、男性）

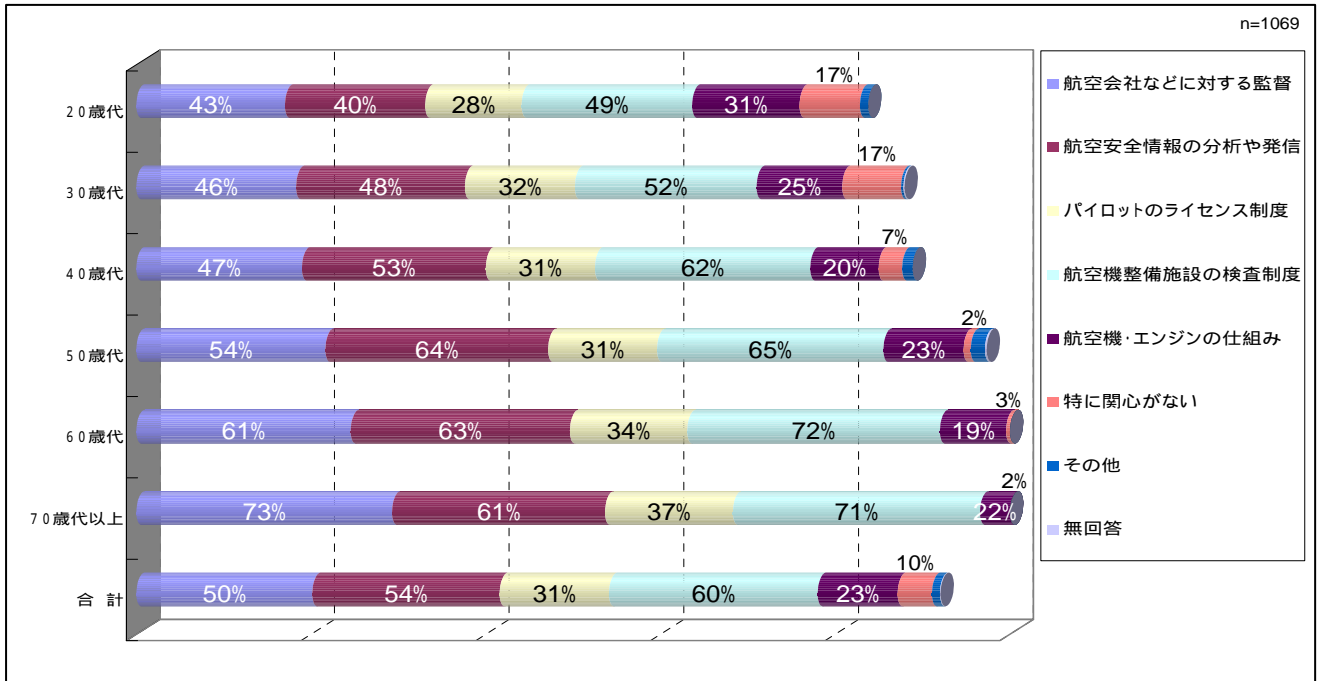
あんなに大きな空港で、不審者を100%捕捉できるのか、強行突破する車を阻止できるのか、不安に感じることはある。（神奈川県、事務職、30代、男性）

### 【その他】

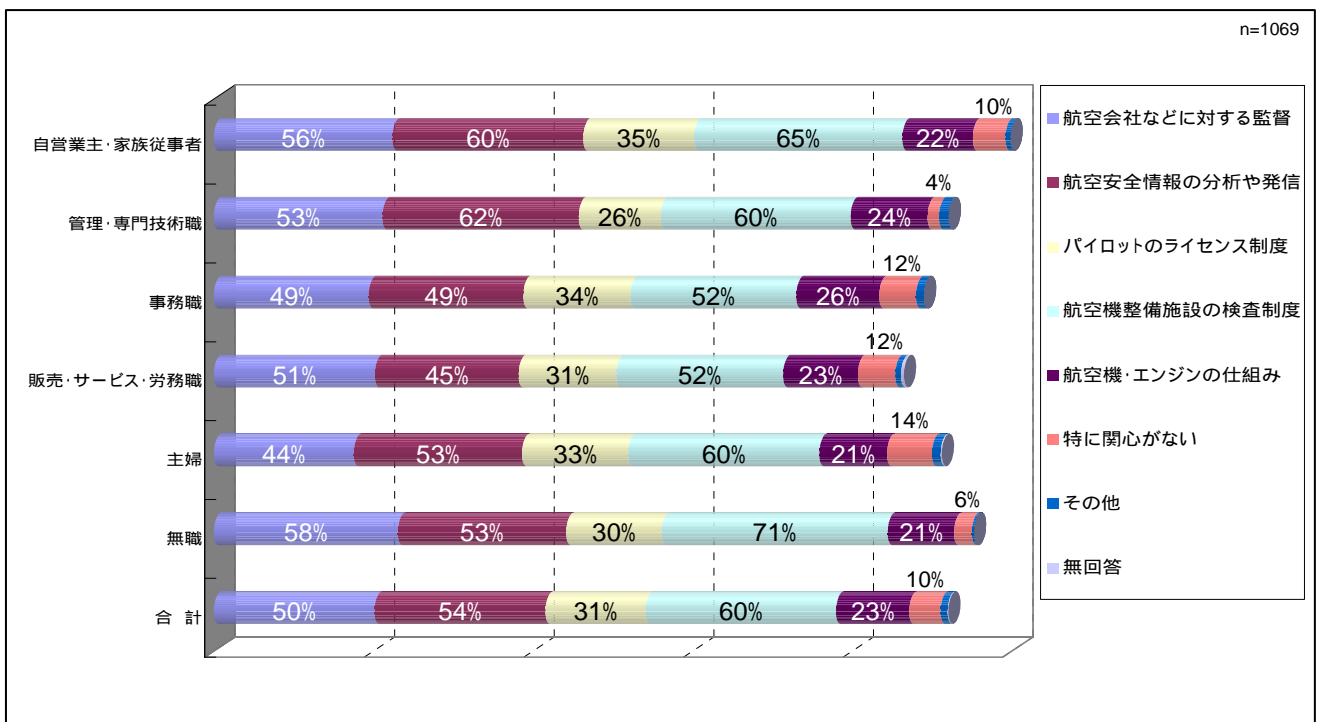
国外からの細菌やウイルス等の侵入が気になります。（宮城県、事務職、30代、女性）

## 航空安全行政で関心のあることについて（問22、複数回答）

### <年代別>



### <職種別>



全体で見ると、複数回答で、航空安全行政で関心のあることについては、「航空機整備施設の検査制度」と回答された方が約60%、「航空安全情報の分析や発信」が約54%、「航空会社などに対する監督」が約50%でした。

年代別に見ると、年代が上がるにつれ航空安全行政のどの項目でも関心が高くなる傾向にあることがわかりました。

## 航空安全行政に関する具体的な関心内容（問23、自由意見）

航空安全行政に関する具体的な関心内容について、全回答者のうち、440名の方からご意見を頂きました。その意見の一部を以下に紹介致します。

### 【航空会社などに対する監督について】

航空会社が、安全性を見逃していることがよくあるので、徹底した監督、検査をお願いしたい。特に過去に、事故を起こした会社ほど、厳重な監督、整備状況を検査してほしい。（北海道、無職、60代、男性）

海外では格安航空会社が多数参入しているが、機体の安全面は疑問が残る。整備の問題で遅延はしょっちゅう。日本の会社だけはこのような事態にならないよう、これまでも交通行政が厳しく監督してきたのと同様に、引き続き、国民の利益のため厳しい制限を設けるべきだと思う。（神奈川県、自営業主・家族従事者、30代、女性）

### 【パイロットのライセンス制度について】

少子高齢化に伴うパイロット不足に対する外国人の採用（宮城県、無職、60代、男性）  
世界的に航空路線が増えるにつれてパイロットが不足しているような報道を読んだことがあります。最近飛行機事故の一因にパイロットの能力も関係しているようなことも見聞きします。安心して飛行機に乗ることが出来るようにして欲しいと思います。（京都府、主婦、60代、女性）

### 【航空機整備施設の検査制度について】

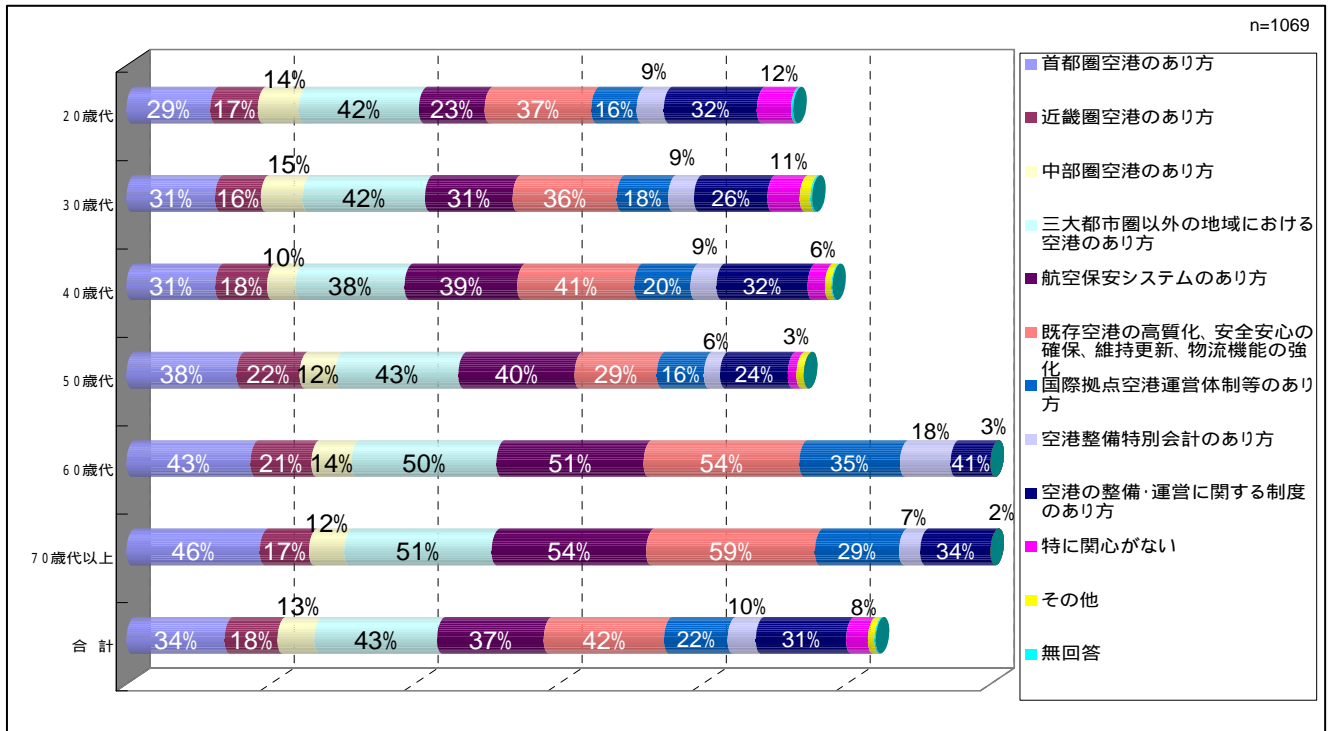
整備について詳しいことはわかりません。しかし、整備ミス点検モレなどをニュースで聞かされると、航空会社全体に対する人命を預かっていることについての認識の甘さを知らされる。人為的ミスは許されない。（北海道、主婦、40代、女性）  
航空機整備施設の検査をしっかりとやっていただくことで、航空機のトラブル事故が減るのではないかと考える。（宮城県、事務職、30代、男性）

### 【その他】

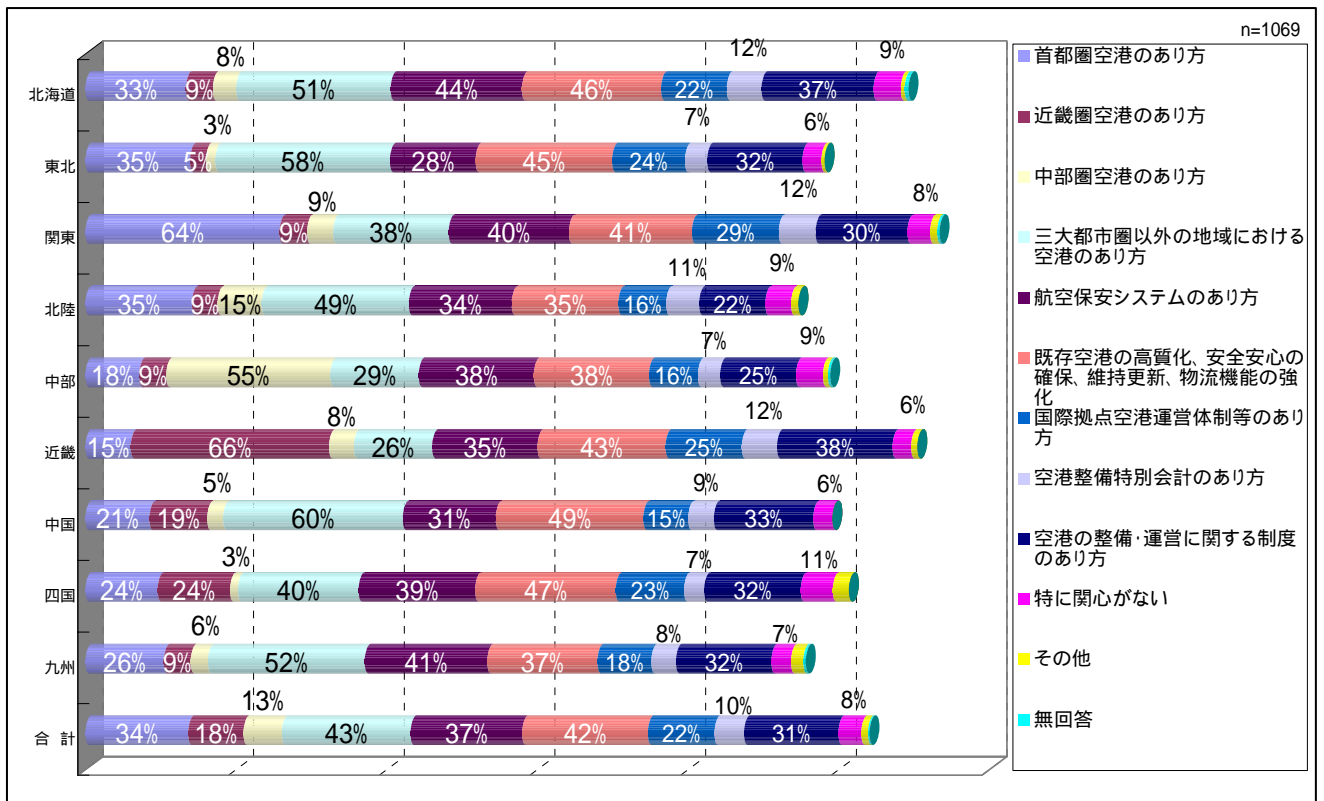
航空会社の航空機、パイロットの能力についての安全の確保。機種ごとの事故発生データの収集と分析。パイロットの健康状態、操縦技術、能力（疲労や精神的状態も含む）についての総合的な管理体制。（北海道、主婦、30代、女性）  
ヒューマンエラーが特に多いのではと思います。人間誰でもミスはあるとは思いますが、こと飛行機に関してはそれではまずいのではと、思います。もう少し精度あげて欲しいと、思います。（神奈川県、自営業主・家族従事者、40代、男性）  
団塊世代の退職に伴い、次世代のパイロットや整備士に知識や技術がしっかりと伝承されているのかについて。これからも安全な空を維持していく為には重要な事であると考えます。（愛知県、販売・サービス・労務職、30代、男性）

## 今後の航空政策で関心のあることについて（問24、複数回答）

### <年代別>



### <地域ブロック別>



全体で見ると、複数回答で、今後の航空政策で関心のあることについては、「三大都市圏以外の地方空港のあり方」と回答された方が約43%、「既存空港高質化等」が約42%、「航空保安システム」が約37%、「首都圏空港」が約34%でした。



## 今後の航空政策に関する具体的な関心内容（問25、自由意見）

今後の航空政策に関する具体的な関心内容について、全回答者のうち、390名の方からご意見を頂きました。その意見の一部を以下に紹介致します。

アジアを代表するハブ空港として候補となる空港が5つくらいは要るのでは？滑走路が4-5本あってアクセスもよい空港がないというのはおかしい。（北海道、管理・専門技術職、40代、男性）

首都圏の空港はやはり重要であると思います。羽田と成田の短所や長所を見極め必要とされる空港を形成してゆくのがよいのではないのでしょうか。（山形県、販売・サービス・労務職、20代、男性）

日本が国際航空輸送ネットワークの中で、相対的に競争力が低下しているのではと危惧しております。空港整備に、より手厚い財源の手当てが必要であると思います。（千葉県、無職、60代、男性）

首都圏の国際空港化が24時間になっていますが、周辺への騒音、空路の安全確保等心配です。（東京都、主婦、40代、女性）

日本の「国際空港」としての地位が年々低くなっているように感じます。韓国・台湾などには大きな空港があり、ハブ空港としての利用が多くなっているように見え、日本の空港の早急な整備（大型化・利便性の向上・使用料の引き下げ等）が必要に思えます。（新潟県、事務職、30代、男性）

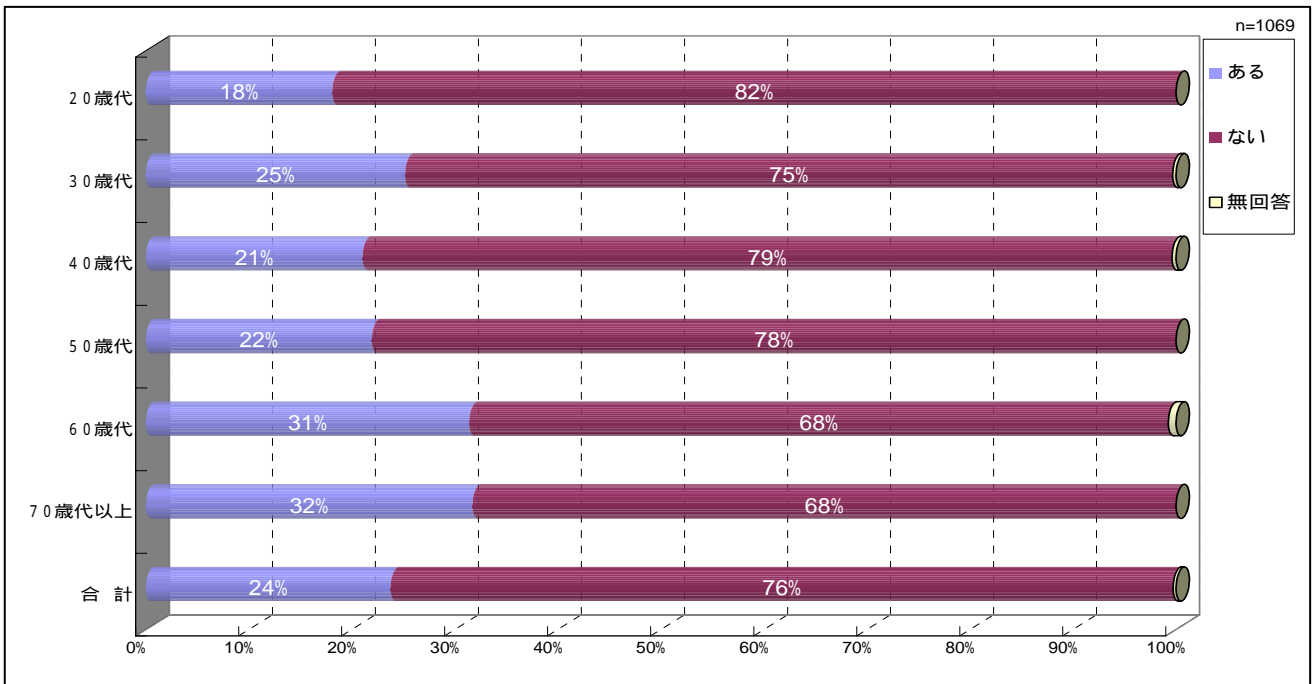
三大都市圏ばかりが整備されていても、他の空港に手が加えられなければ連携は取れない。むしろ地方の空港のあり方を確立するのが先なのではないか？（新潟県、主婦、40代、女性）  
地方空港の充実があつてこそ、物流や人の往来が活発になると思う。地方の厳しい財政事情の中、国である程度の予算を負担してでも、ネットワークの維持につとめるべきだ。地方空港にセキュリティホールができないように、安全対策もきちんとしてほしい。（兵庫県、自営業主・家族従事者、40代、男性）

九州地区なので、福岡空港の機能分散に関心があり、現在あまり利用されていないように見える佐賀空港や新規に開港した新北九州空港をどう活用していくのかに興味がある。（長崎県、管理・専門技術職、30代、男性）

物流において国際競争力が落ちてきている（特にアジア）とあったが、アジア・ゲートウェイ戦略は是非、強力に推進していただきたい。（宮崎県、無職、60代、男性）

## 航空局ホームページの利用状況について（問26）

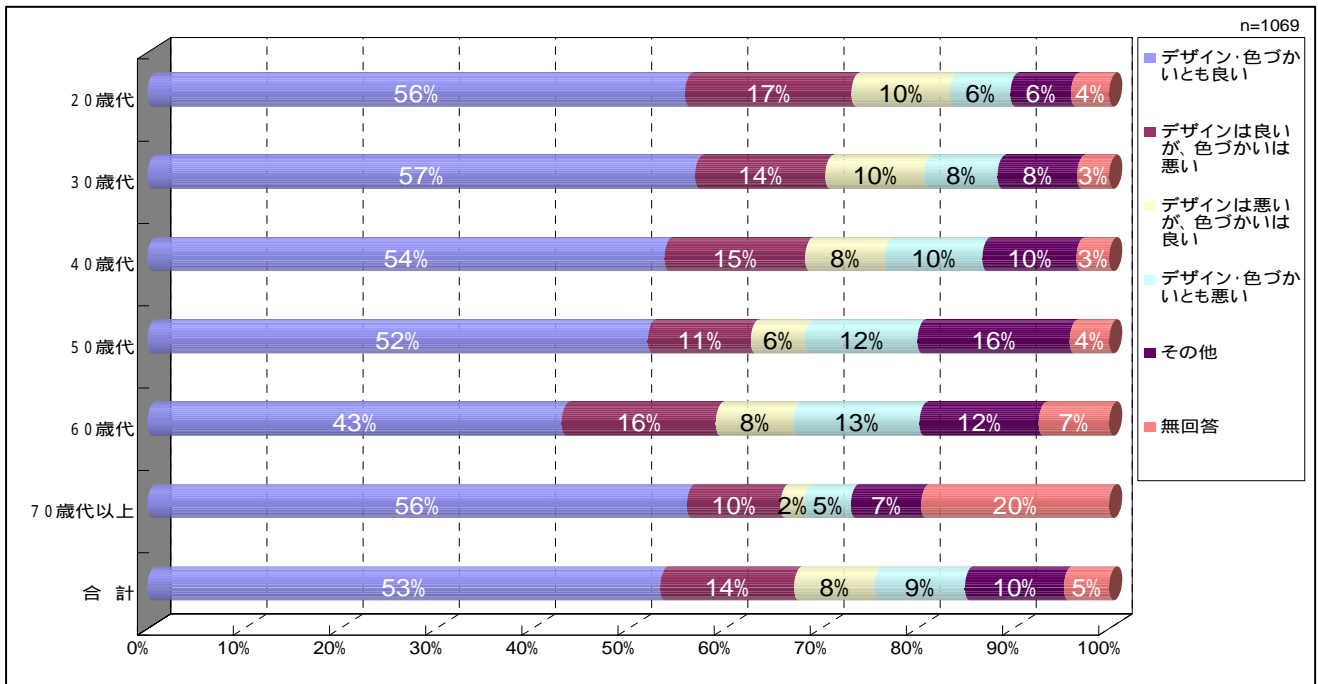
<年代別>



全体で見ると、航空局のホームページを利用したことがあるかどうかについては、「ある」と回答された方が約24%、「ない」と回答された方が76%でした。

## 航空局ホームページのデザイン・色づかいについて（問27）

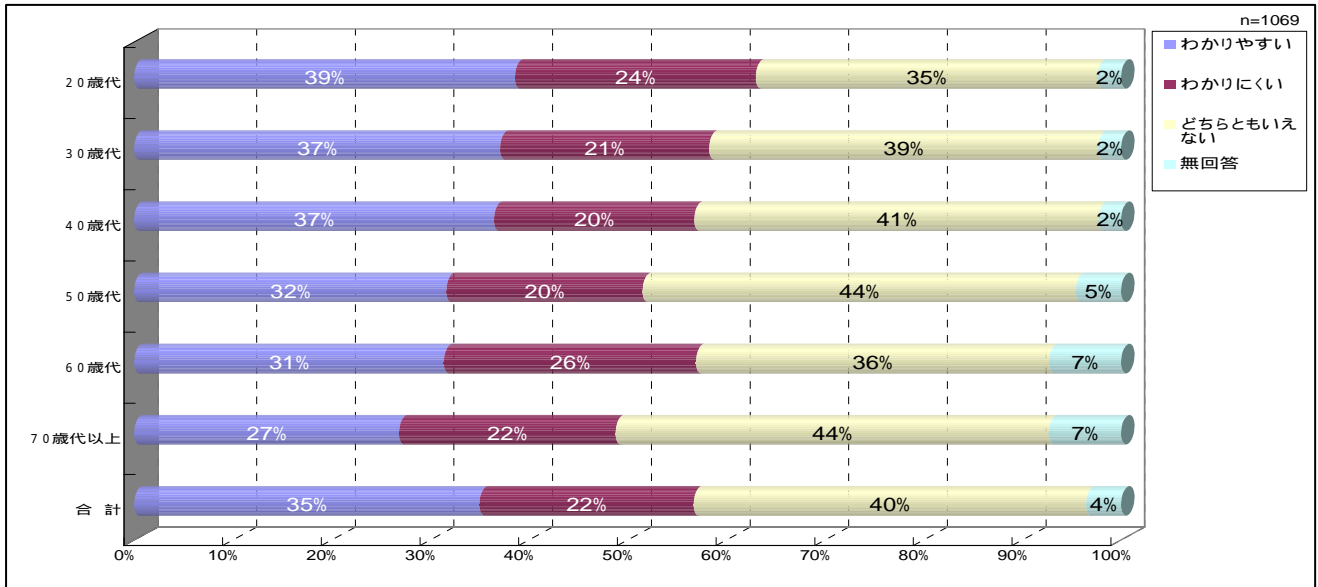
<年代別>



全体で見ると、航空局のホームページのデザイン・色づかいについては、両方とも「よい」と回答された方が約53%、両方とも「悪い」と回答された方が約9%でした。

## 航空局ホームページ内の情報の所在がわかりやすいかどうかについて（問 2 8）

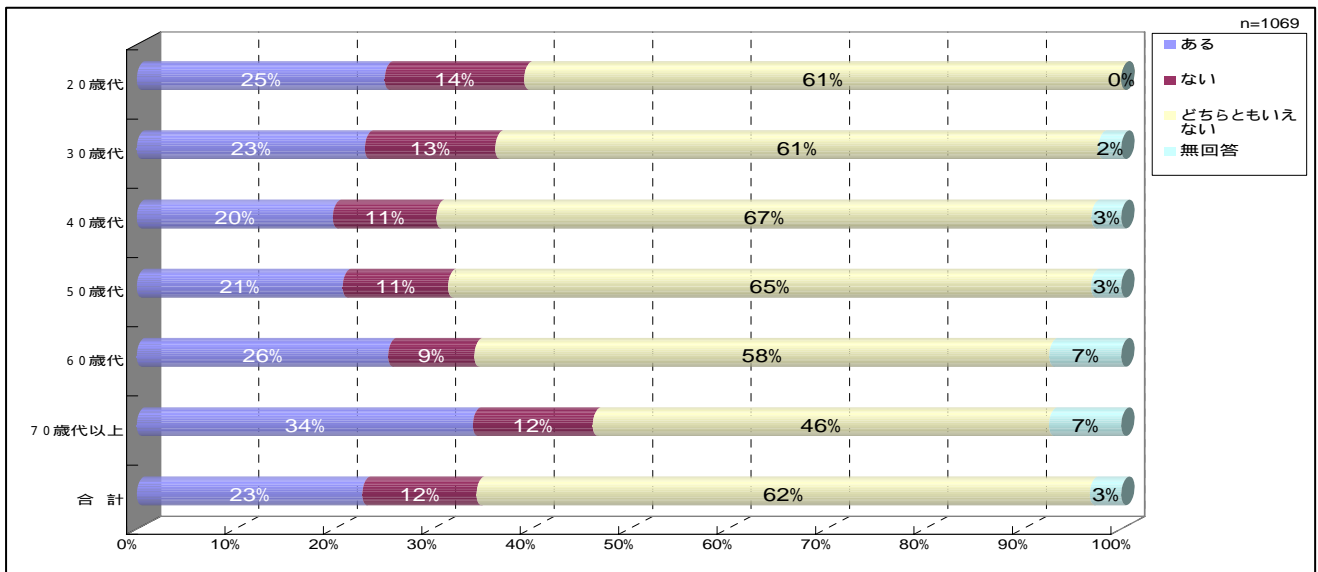
< 年代別 >



全体で見ると、航空局のホームページ内の情報の所在がわかりやすいかどうかについては、「わかりやすい」と回答された方が 35%、「わかりにくい」と回答された方が約 22% でした。  
年代別で見ると、「わかりやすい」と回答された 20 歳代の方は約 39%、年代が上がるにつれて減少し、70 歳代以上では「わかりやすい」と回答された方は約 27% でした。

## 航空局ホームページに知りたい情報が十分にあるかどうかについて（問 2 9）

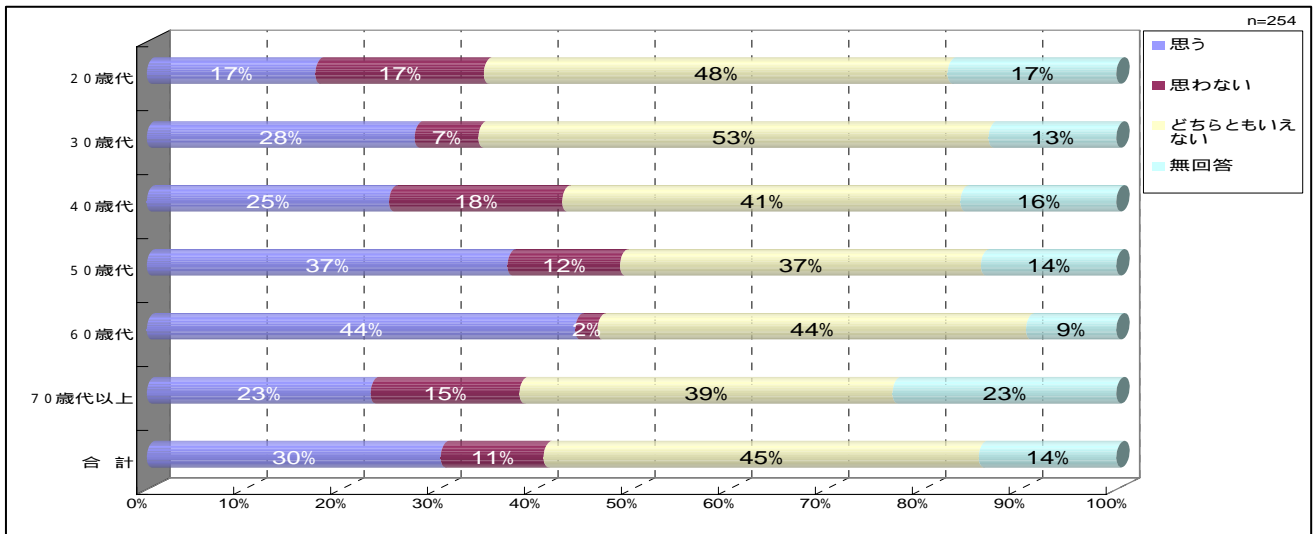
< 年代別 >



全体で見ると、航空局のホームページに知りたい情報が十分にあるかについては、「ある」と回答された方が約 23% でしたが、航空局ホームページを利用された方が少ないためか「どちらともいえない」と回答された方が約 62% ありました。

## 航空局ホームページがよく更新されていると思うかどうかについて（問30）

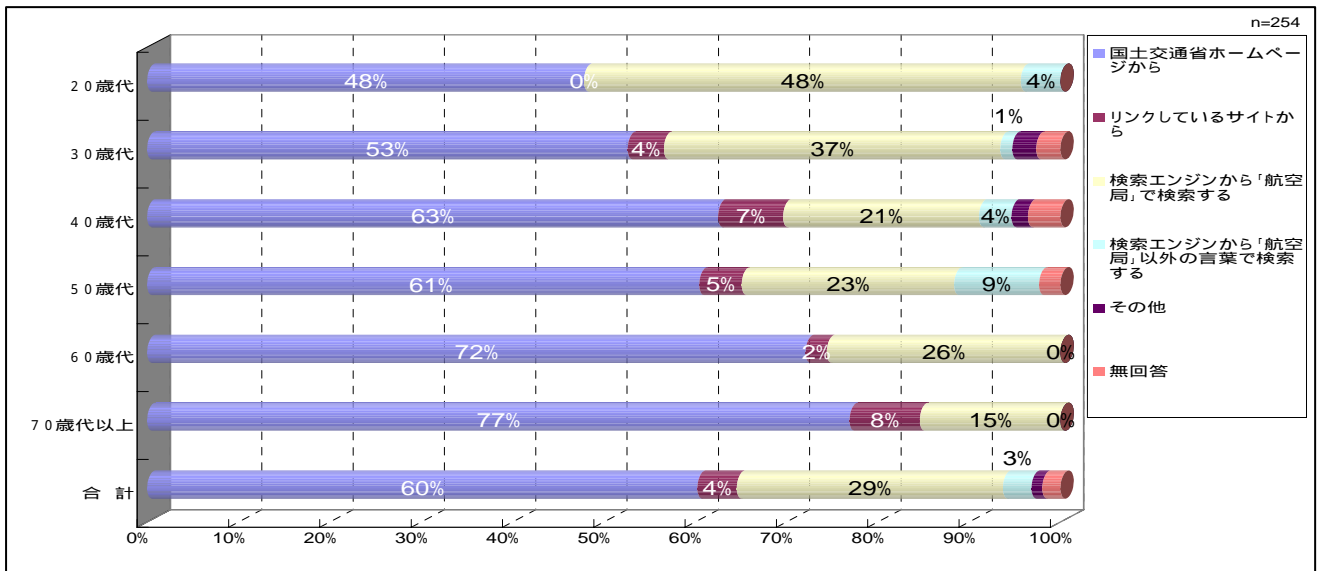
<年代別>



航空局ホームページを利用した事が「ある」と回答された方に聞いたところ(以下問34まで同じ)全体で見ると、航空局のホームページがよく更新されていると思うかどうかについては、「思う」と回答された方が約30%、「思わない」と回答された方が約11%、「どちらともいえない」と回答された方が約45%でした。

## 航空局ホームページへのアクセス方法について（問31）

<年代別>

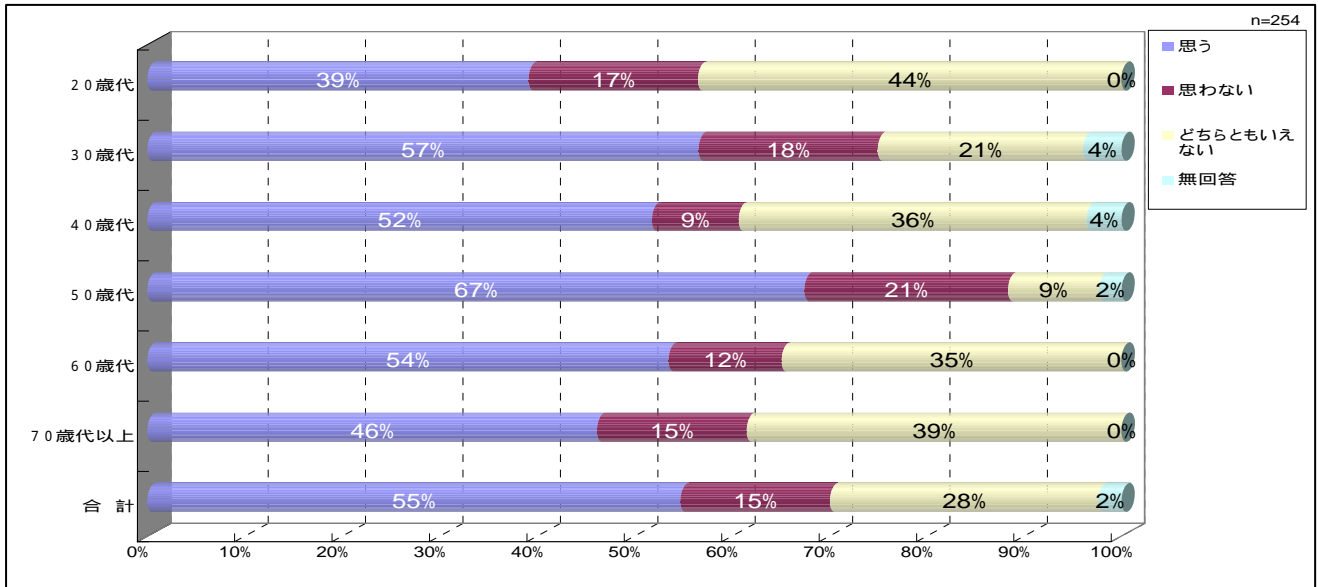


全体で見ると、航空局のホームページにどのようにアクセスするかについては、「国土交通省ホームページから」と回答された方が約60%でした。

年代別に見ると、20歳代の方は「国土交通省ホームページから」、「検索エンジンから「航空局」で検索する」と回答された方がそれぞれ約48%であるのに対し、70歳代以上の方は「国土交通省ホームページから」と答えた方が約77%と圧倒的に多いものの「検索エンジンから「航空局」で検索する」と答えた人は約15%に止まるなど、年代が上がるにつれてアクセス方法が限られることがわかりました。

## 航空局ホームページへアクセスがしやすいかどうかについて（問32）

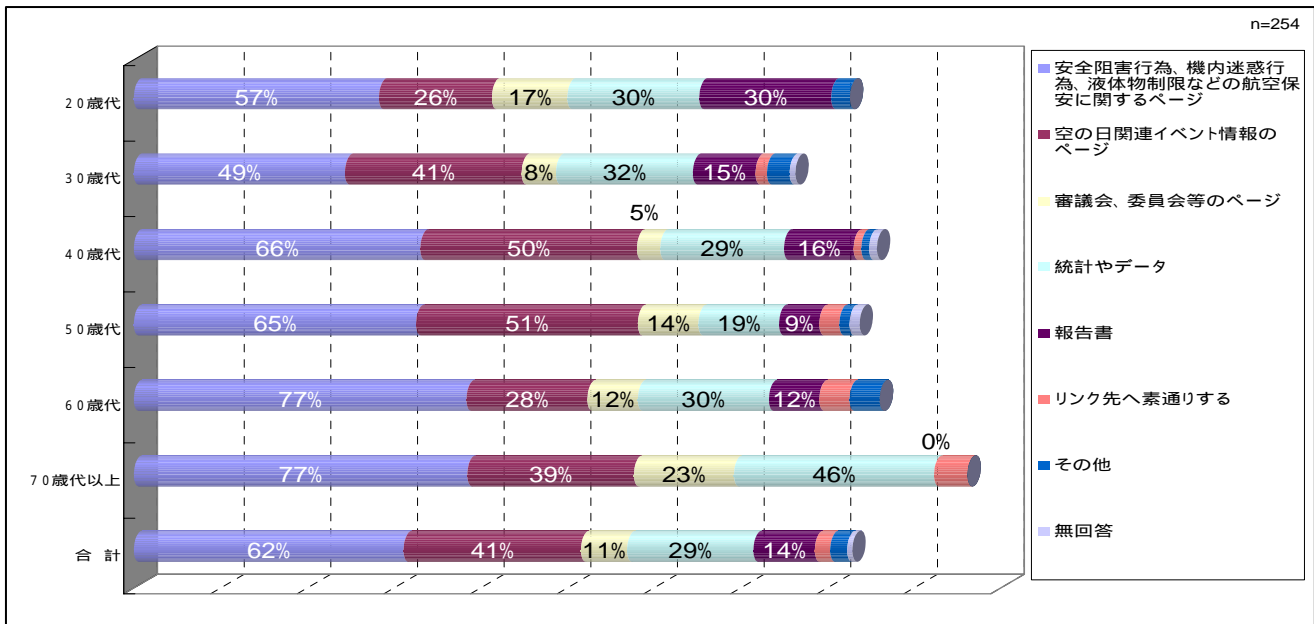
<年代別>



全体で見ると、航空局のホームページへのアクセスがしやすいかについては、「思う」と回答された方が約55%、「思わない」と回答された方が約15%でした。

## 航空局ホームページの中でよく見るページについて（問33、複数回答）

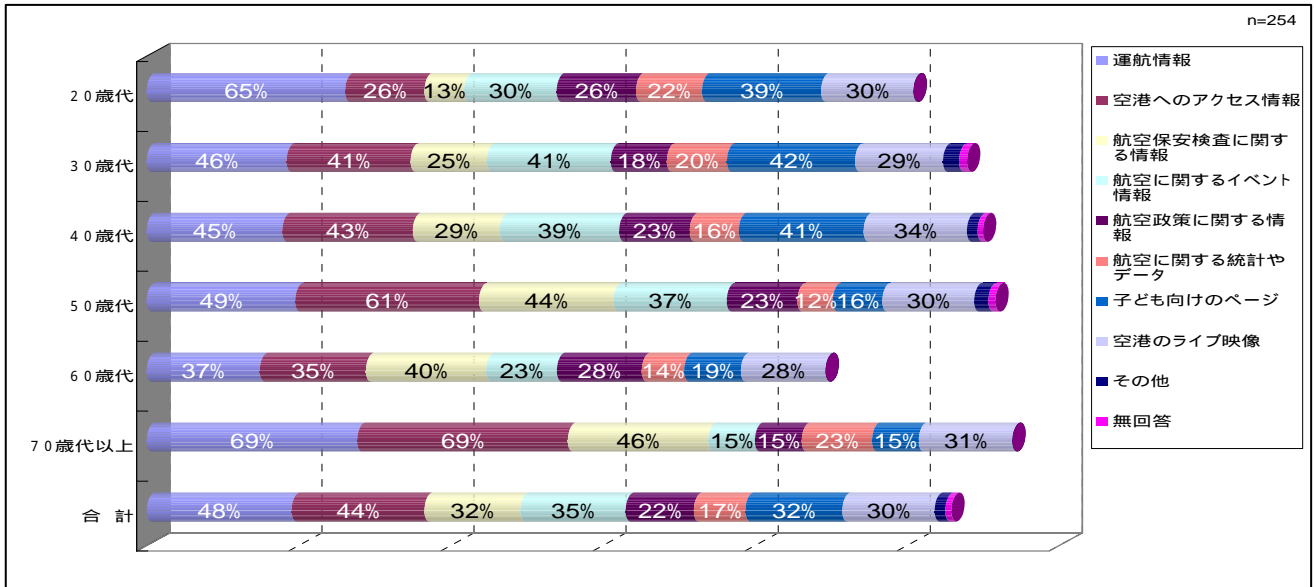
<年代別>



全体で見ると、複数回答で、航空局のホームページでよく見るページについては、「安全阻害行為等の航空保安に関するページ」と回答された方が約62%、「空の日イベント情報のページ」と回答された方が約41%、「統計やデータ」が約29%でした。

## 航空局ホームページに追加してほしい内容について（問34、複数回答）

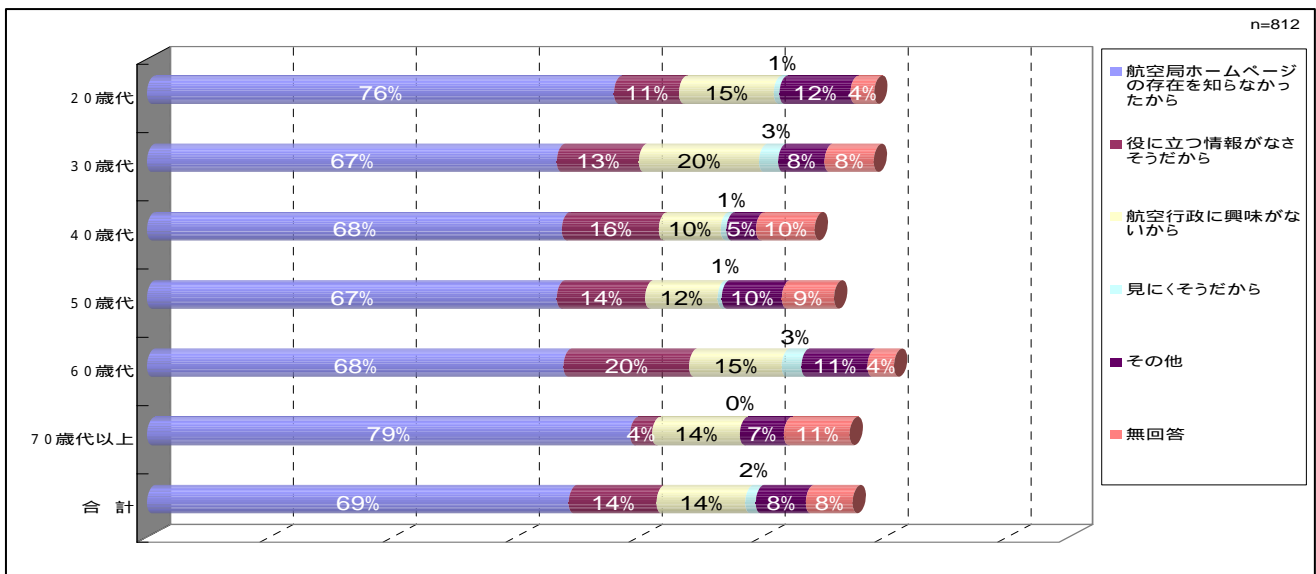
<年代別>



全体で見ると、複数回答で、航空局のホームページに追加してほしい内容については、「運航情報」と回答された方が約48%、「空港へのアクセス情報」約44%、「航空に関するイベント情報」が約35%、「子ども向けページ」が約32%、「航空保安検査に関する情報」約32%でした。

## 航空局ホームページを利用したことがない理由について（問35、複数回答）

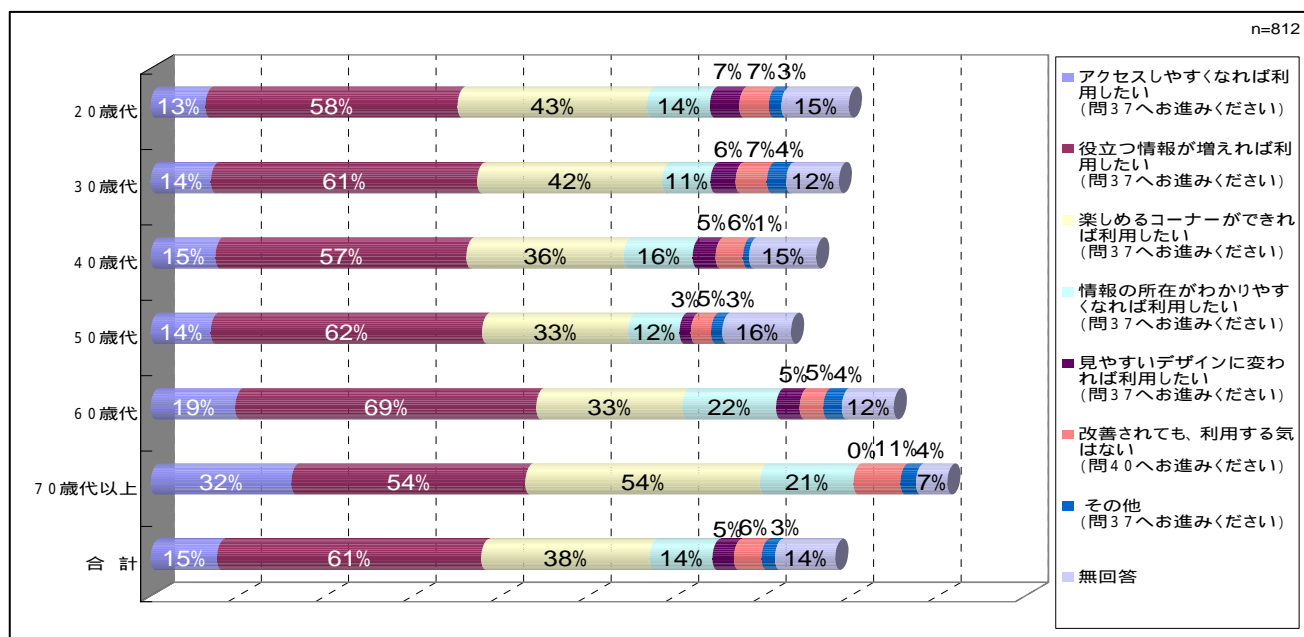
<年代別>



全体で見ると、航空局のホームページを利用したことがない理由は「航空局ホームページの存在を知らなかったから」と回答された方が約69%であり、航空局ホームページの認知度が低いことがわかりました。

## どのような改善があれば、航空局ホームページを利用したいと思うかについて (問36、複数回答)

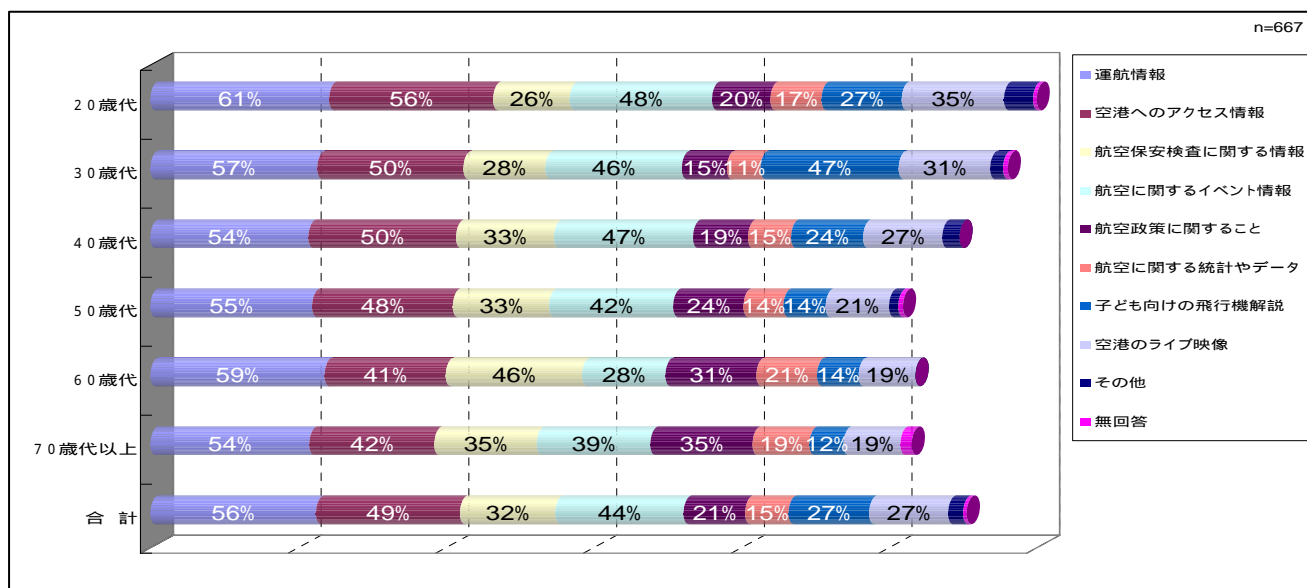
<年代別>



全体で見ると、複数回答で、どのような改善があれば航空局のホームページを利用したいと思うかについては、「役立つ情報が増えれば」と回答された方が約61%、「楽しめるコーナーができれば」が約38%、「アクセスしやすくなれば」が約15%でした。

## 航空局ホームページでどのような情報を入手したいかについて(問37、複数回答)

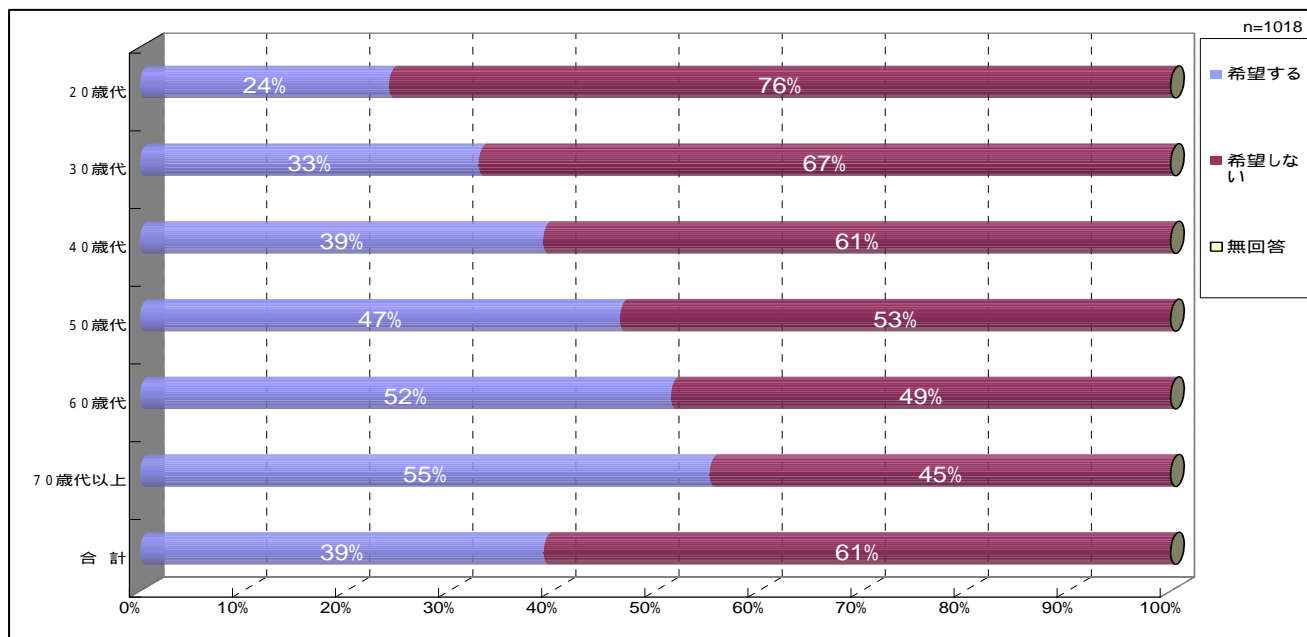
<年代別>



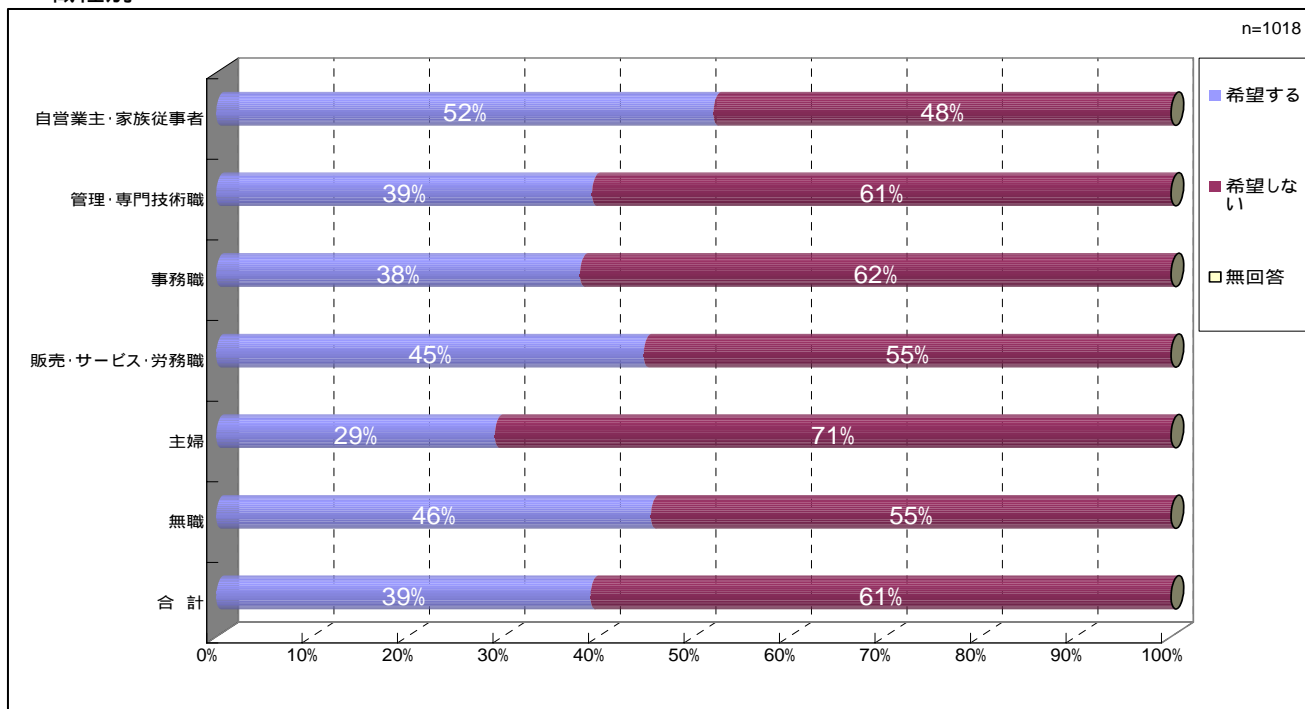
全体で見ると、複数回答で、航空局のホームページでどのような情報を入手したいかについては、「運航情報」と回答された方が約56%、「空港へのアクセス情報」約49%、「航空に関するイベント情報」が約44%でした。

航空行政関係情報を発信するメルマガがある場合、購読を希望するかどうかについて  
(問38)

<年代別>



<職種別>



全体で見ると、航空行政関係の情報を発信するメルマガの購読希望については、「希望する」と回答された方が約39%、「希望しない」と回答された方が約61%でした。

年代別で見ると、「希望する」のは70歳代以上の方が最も高く約55%、「希望しない」のは20歳代の方が最も多く約76%となっています。

職種別で見ると、最も多く希望されるのは「自営業主・家族従事者」の方で約52%、最も希望されないのは「主婦」の方で約71%となっています。



## 航空行政関係情報メルマガ購読の希望に関する具体的理由（問39、自由意見）

航空行政関係情報メルマガ購読の希望に関する具体的な理由について、全回答者のうち、810名の方からご意見を頂きました。その意見の一部を以下に紹介致します。

### 【希望する】

気軽に航空行政関係の情報を知りたい（福島県、自営業主・家族従事者、60代、男性）

リアルタイムで運行状況や保安など各種の情報を入手できるのであればメルマガを購読したい。政策やまとまった資料内容ということであれば、必要時にHPをチェックすることで充分のように思う。（東京都、管理・専門技術職、40代、女性）

全てのメルマガ利用者に対し1種類のメルマガでは不要な情報が多い。開始時に必要な情報が選択できれば購読をしても良い。必要であればWEB検索をするので現状は不要です。（奈良県、管理・専門技術職、30代、男性）

これだけインターネットが身近になっているにもかかわらず航空局の情報がほとんど伝わって来ないから。（広島県、事務職、50代、男性）

今まで知らなかった事をメルマガで教えていただければ、もっと利用しやすくなると思います。（長崎県、販売・サービス・労務職、30代、女性）

### 【希望しない】

毎日使う交通手段ではないので必要なときにだけ見ればよいのでメルマガは必要ないです（北海道、主婦、30代、女性）

定期的に航空行政の情報に接する必要性を感じないから。必要な時にアクセスできればそれでよいから。（秋田県、事務職、20代、女性）

航空行政関係の情報を発信するメルマガを購読するほど、頻繁に航空行政関係の情報を必要としないから。（千葉県、無職、60代、男性）

現時点で毎日たくさんのメールを処理せねばならず、これ以上メールを読めない。（山梨県、自営業主・家族従事者、30代、男性）

こちらが必要と思う時にアクセスできるから特にメルマガは必要ない。（石川県、無職、60代、男性）

生活に密着したものではないから定期的に情報は必要ないと思うから。（石川県、主婦、20代、女性）

イベント情報の発信としてのメルマガなら、受信してもいいが、保安検査や運賃などの調べればいつでもわかる内容などは検索で探せるので不要だと思う。（愛知県、主婦、30代、女性）

## 航空行政全般（航空政策やホームページなど）（問40、自由意見）

航空政策やホームページなど航空行政全般に関するご意見や感想について、全回答者のうち、679名の方からご意見を頂きました。その意見の一部を以下に紹介致します。

### 【航空政策について】

航空界では自由化が世界の潮流であるように感じるのですが、そのような動きに対して日本の航空行政の対応がわかりにくく思えます。例えば国際間の航空運賃に対して、日本は非常に保守的な対応をしておられるようですが、そのような政策をとらざるを得ない理由があるのでしたら、はっきりと主張し説明をされるよう希望します。ホームページ上で、航空界での問題などについて、航空局の見解などを常に知ることが出来れば素晴らしいと思います。（千葉県、無職、60代、男性）

地方へ空港をばら撒く、ばら撒き行政を行うのではなく、東南アジアや世界各国のように、航空戦略を持って空港整備や航空政策を行って欲しい。日本の航空行政には、戦略が感じられない。主要空港に集中的に予算を配分するようにしたい。（「スーパー中枢港湾構想」の航空版）（滋賀県、自営業主・家族従事者、40代、男性）

自分の住んでいるところにも空港がありすばらしく便利です。今まで陸の孤島とよばれていた地域ですから。首都圏に60分以内でいけるのはとてもありがたい。自分の地域にあるからいえることなのかもしれませんが、近年新しい空港とりわけ、1時間以内に空港にいける地域や、他の主要交通機関がある地域にも空港ができています。必要だから作ったと思うので、どんどん航空需要の掘り起こしをし、活性化させてほしいです。（山形県、販売・サービス・労務職、20代、男性）

### 【航空安全について】

マスコミに話題が挙がるのは、重大インシデントや本当の事故が起こったときであり、その前の予防についての取り組みはなかなか話題になりません。行政がこれだけやっているという安心感を市民が得るためにもこれまで以上の広報をお願いします。（三重県、管理・専門技術職、20代、男性）

近年は、各航空会社が、安全よりも利益を追求し過ぎるよう見受けられる。会社が営利を目的としていることは理解できるが、人命を大切にすれば、結果として利益は伴ってくると思う。監督官庁の更なるご指導が大切だと思います。（愛知県、自営業主・家族従事者、60代、男性）  
事故が起きると、安全上の問題が取りざたされますが、日ごろからのヒヤリ、ハット情報の公表などで事故を防いでいることを、多くの人に認識して頂くような広報をお願いします。日本の空港は分散されていて、とても小さいのが気になります。（石川県、無職、60代、男性）

### 【航空保安について】

保安検査などについては、事前に知らないと困ることもありますので、インターネットをうまく使って広報を強化して欲しいと思います。（東京都、管理・専門技術職、30代、女性）  
国際的にテロなど危ない状況で水際の安全確保についてしっかりとお願いしたい（広島県、販売・サービス・労務職、50代、女性）

## 【空港について】

駐車場料金について原則無料にしてもらいたい、地方空港ですと公共輸送機関が整備されていなく、やむなく車で空港に行き旅行期間中駐車しますが高額になります。(北海道、無職、60代、男性)

騒音対策の取り組み重視を願います。空港利用税をわかりやすくオープンにして欲しい。(三重県、無職、60代、男性)

## 【ホームページについて】

航空局のホームページ自体があったことが分からなかったのも、今後は少し活用してみたいと思う。(宮城県、事務職、30代、男性)

国土交通省のトップページに飛行機の画像があるのでそこをクリックすると航空局や関連サイトにリンクさせてはいかがでしょうか？(神奈川県、管理・専門技術職、50代、男性)

航空局のホームページをもっと多くの人に見てもらえるように宣伝をしたら良いと思う。このようなアンケートをもっと行うべきだと思う。(神奈川県、管理・専門技術職、30代、女性)

HP全体の印象は親しみづらい。行政のHPなので、いたしかた無いのかもしれませんが。可能であれば画面を一般向けと業界向けと分けて、一般用は親しみの持てるつくりになると良いとおもいます。(東京都、無職、60代、男性)

こういうアンケートがなければ航空行政についてホームページをみることもなかったと思うのでこれからは時々見てみたいと思います。(愛知県、主婦、30代、女性)

ホームページはとても見やすくまとまっていいていいと感じています。これからも、みやすく、わかりやすく私たちに情報を提供してください。(静岡県、事務職、40代、男性)

重要なページほど、子どもにも解説するくらいのわかりやすさと興味ひく内容で知らせてほしいが、あのページでは 興味がない。一方的情報発信だと疲れる。(京都府、無職、50代、女性)

あまり関心をもって見聞きした覚えはないが、アンケートに答えながら、航空行政の幅が広いことに驚いた。これからは、報道で関心をもった政策などを、ホームページなどで、掘り下げて知識を深めてみようと思った次第である。(長崎県、主婦、30代、女性)

## 【その他】

飛行機は安全で、気軽で、楽しいということをもっとアピールしてください。飛行機から見える景色なども、紹介してください。(たとえばこの路線ではいつごろ窓の外に何がみえるなど)飛行機でなくては楽しめないことや経験できないことを教えてください。(山形県、主婦、40代、女性)

去年、たまたま羽田空港に行った際に初めて「空の日」のイベントを知り、参加したのですが、とても楽しい時間をすごしました。特にパイロット希望の娘は大喜び。もっと早くこのイベントを知っていたかっと思ひます。空の日のイベント、もっとみんなに宣伝すると良いと思ひます。(そうすると混んでしまうかな？)(埼玉県、主婦、30代、女性)

## < グラフの見方 >

- (1) グラフの数値は回答率(%)となっている。
- (2) 割合は小数点第 1 位で四捨五入し、整数で示している。よって、 は1つだけの質問であっても、回答比率の合計値が 100.0%にならない場合がある。また、複数回答の質問は母数を回答者数としているため、回答比率の合計値が 100.0%を超える。
- (3) 本文やグラフの選択肢の表記は、語句を簡略化している場合がある。